

令和3年度使用県立東葛飾中学校
教科用図書選定理由書

令和2年8月

千葉県教育委員会

令和3年度使用県立中学校教科書の採択に関する基本的な考え方

千葉県教育委員会

1 令和2年度の教科書採択に関して

令和2年度においては、中学校の全16種目の教科書について新たに採択を行うこととなる。

2 中学校の教科書採択に関して

(1) 採択する教科書の考え方

- ① 県の教育施策に最も適合した教科書であること。
- ② 各学校の学校教育目標を達成するために最もふさわしい教科書であること。

(2) 選定の基準

- ① 県の教育施策に基づいて、学校教育目標が具現化できる教科書であること。
- ② 教育課程の特色や生徒の実態等、学校の実情に適した教科書であること。

(3) 調査研究の観点

- ① 体験的な学習や問題解決的な学習など、生徒が主体的に学習に取り組むことができる内容が充実しているか。
- ② 生命尊重の心や自尊感情、規範意識など、各教科における道德教育との関連を考慮した内容が充実しているか。
- ③ 生徒が健康の保持増進や安全などについて自ら考え、主体的に判断し、健康で安全な生活を実践する能力と態度を育成する内容が充実しているか。
- ④ 生徒が郷土や国を愛する心や誇りをもち、自信をもって郷土や国の特色・魅力を発信するとともに、グローバル社会に対応した資質・能力を育むための内容が充実しているか。
- ⑤ 学校の教育目標に基づき、独自の教育課程の実施に適した内容が充実しているか。

〔東葛飾中学校教育目標〕

確かな学力：基礎基本をしっかり身に付け、自ら考え問題解決できる資質や能力を育成

豊かな心：人や自然、文化とのかかわりを大切にし、自らの視野を広げ、他人を思いやる心や感動する心を育成

健やかなからだ：心身の調和のとれた、健康・安全で活力ある生活を営む力を育成

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書

(種目：国語)

推薦			○
観点	発行者：2 東京書籍 ----- (書名：新しい国語)	発行者：15 三省堂 ----- (書名：現代の国語)	発行者：17 教育出版 ----- (書名：伝え合う言葉 中学国語)
①	<ul style="list-style-type: none"> 「目標・問いかけ・言葉の力(学習のポイント)・振り返り」という学習の流れが示され、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。また、「振り返り」では、学習を深めたり、学んだことを以後の学習や生活に生かしたりするための工夫がなされ、主体的・対話的で深い学びの実現につながるよう配慮されている。 多様な言語活動が設定され、基礎編では他教科の学習や生活に生かせる言語能力を身に付けるための具体的な学習の流れが分かりやすく示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学びの道しるべ」を通して学習の流れを明確に提示し、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。また、情報と情報との関係を捉えたり、考えを整理し深めたりするための「思考の方法」を各教材において具体的に示し、主体的・対話的で深い学びの実現につながるよう配慮されている。 多様な言語活動が設定され、対話・交流・共有の流れで学習を進めて行くことで、より創造的な合意を生み出すための学習の流れが工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学びナビ」、「ここが大事」によって学習の流れや課題を追究する方法を明確に示すことで、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。また、「目標」と「振り返り」を分かりやすく示すことで、より深い学びに結び付くように配慮されている。 多様な言語活動による主体的・対話的で深い学びを設定し、それらの学習活動を通して、育成すべき資質・能力の三つの柱(知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等)を育む工夫がなされている。
②	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな情操や共感する心を養う教材が随所に設定されている。また、公共の精神を育む協働的な言語活動が豊富に取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> いのちの大切さについて深く考える教材が適切に設定されている。多様な考えをもつ他者との関わりを意識した学習活動や教材が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 平和やいのちの大切さといった豊かな心を育む教材が設定されている。また、自己の価値や他者とのつながりについて考える教材が取り上げられており、県の施策に適合している。
③	<ul style="list-style-type: none"> 運動、食、安全に関する題材が各学年で取り上げられている。特に食育、運動に関する題材の取り上げ方に工夫がみられ、関連図書の紹介もされている。健康で安全な生活を実践する能力と態度を育成する内容である。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災、環境、水に関する題材が各学年で取り上げられている。特に、水に関する題材は健康、防災で扱われ、取り上げ方に工夫が見られる。これからの問題に主体的に関わる態度を育成する内容であり、県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsや人権、防災と関連させながら、健康や安全について考えられる題材が取り上げられている。心の健康についても触れられており、現代社会を生きる生徒たちにとって主体的に考えられるよう工夫されている。
④	<ul style="list-style-type: none"> 現代に至るまで読み継がれてきた優れた古典作品が、ジャンルや内容、成立年代のバランスを考慮して掲載されている。また、写真資料や古典の鑑賞・解説の文章なども豊富で、日本の伝統文化を尊重し、親しむことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 和歌、俳句、古文、漢文、漢詩などが幅広く掲載され、言語文化の継承や発展、その意義を考えることができるよう配慮されている。また、資料の古典作品も多く、歌舞伎や狂言などの古典芸能も紹介されるなど内容が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の古典文学の素養となるような代表的な作品が掲載されている。作品の歴史的背景や全体像に触れるような解説や視覚資料が充実している。付録「言葉の自習室」では、古典学習を深められるよう古典に関する知識や伝統芸能に関する教材が設定されており、県の施策に適合している。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 「本編・基礎編・資料編」の3部構成になっており、基礎編と資料編には本編で学んだことを確認・発展させることのできる教材が多数掲載され、学校や生徒の実情に合わせて柔軟に扱うことができるよう配慮されている。また、表現も丁寧で分かりやすく、学習内容も整理されており、自主学習にも利用しやすいよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本編においては必修の学習内容を扱い、巻末の資料編では学習に必要な実践的知識や具体的な学び方がまとめられており、基礎・基本の定着を図る学習や他教科での活用、家庭学習での資料として役立つことができる。また、「参考資料」は既習の知識の整理とともに、広がる知的好奇心に応えられるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学びのチャレンジ」では、単元で学習した内容をもとに、更に深い読解や表現にむけて、自力で取り組むことができるように工夫されている。また、巻末付録「言葉の自習室」には、補充教材や様々な資料が掲載されており、多様なカリキュラムや生徒の自主学習への対応等、学習の多様化や重点の強調などができるように配慮されており、学校の教育方針等に適合している。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書

(種目：国語)

推薦	
観点	発行者：38 光村図書 ----- (書名：国語)
①	<ul style="list-style-type: none">・学習の見通しをもった上で、身に付けるべき資質・能力を意識しながら主体的に学習に取り組むための学習の流れが明確に示されている。また、「学習の窓」で汎用性のある学習ポイントを明確に示すことで他教科の学習に生かせるよう工夫され、具体的な「振り返り」で、より深い学びにつながるよう配慮されている。・身に付けた知識・技能を活用した多様な言語活動を通して、思考力・判断力・表現力等を高め、学びを他教科の学習や生活、将来につなげるための工夫がなされていること等から県の施策に適合している。
②	<ul style="list-style-type: none">・国内外の平和に関する内容やいのちの大切さを扱った教材が設定されている。他者と協力し合って取り組む言語活動が適切に設定されている。
③	<ul style="list-style-type: none">・運動、食、睡眠、防災等、健康や安全に関する教材が取り上げられている。特に、運動に関する教材は、全学年で取り上げられており、運動を通して健康維持管理を考えるきっかけを与えている。
④	<ul style="list-style-type: none">・伝統的な言語文化である短歌や俳句、時や色、季節を表す言葉等を数多く紹介し、日本語そのものの表現に着目したり、興味をもったりすることができるよう工夫されている。巻末資料では伝統芸能、近代文学の名作などの紹介が充実している。
⑤	<ul style="list-style-type: none">・「学習を広げる」において、教材に関連した資料がまとめられており、生徒の実態や個に応じて補充的または発展的のいずれの学習にも対応できるように配慮されている。また、「読むこと」についての基本的な学習用語がまとめられており、系統立てた学習ができるように工夫されている。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書

(種目：書写)

推薦			○
観点	発行者：2 東京書籍 ----- (書名：新しい書写)	発行者：15 三省堂 ----- (書名：現代の書写)	発行者：17 教育出版 ----- (書名：中学書写)
①	<ul style="list-style-type: none"> ・「目標」から「振り返り」までの学習の流れが明確に示されている。「振り返り」では学んだことをもとに説明したり、話し合ったりする対話的活動が取り入れられ、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう配慮されている。 ・「書写のかぎ」として、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」が明確に示されている。また、学んだことを日常の生活に生かす活用力を養うための様々な工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「目標」と「振り返り」が設定され、主体的な学習につながる構成がなされている。また、毛筆で学習したあとに繰り返し硬筆で練習し、学びを深めると共に、日常に生かせる実践的な力を定着させるよう配慮されている。 ・「書き方を学ぼう」でそれぞれの教材で学習すべき書き方のポイントが示されている。また、高等学校書道につながる書写・書道に関する幅広い興味をもたせる工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「目標」から「振り返り」までの学習の流れが具体的に示され、主体的な学習につながる構成がなされている。また、思考する場面を設定するとともに、毛筆で学んだことを硬筆に生かせるよう配慮されている。 ・基礎・基本を確実に習得した上での他教科と関連した学習を設定し、教科等横断的な学習につながるよう工夫されている。また、学んだことを日常生活に生かすための工夫が見られること等から県の施策に適合している。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな情操と道徳心を養うような語彙を、教材文字として選定している。対話的な振り返りや学び合いを取り入れた学習活動を通して、互いを尊重し理解を深める態度を養うよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙やはがきの書き方の学習では、書を通して他者とのつながりを感じられるよう配慮されている。名言集を作る学習では、座右の銘や心に残った言葉を書くことで自分自身と向き合うことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メッセージカードを書いて自分の思いを伝えたり、未来の自分に向けて手紙を書いたりする活動が設定され、書を通して自分や相手を大切にする態度を養うことができるよう工夫されており、県の施策に適合している。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・活用単元「生活に広げよう」では、食育や防災の題材が扱われ、健康で安全な生活を実践する能力や態度を育成する工夫がなされており、県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の文字と3年生の文字を比較できるページや自分の好きな言葉を表現する活動があり、振り返りの中で自分の成長が分かるような工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生きてはたらく書写の力を身に付けさせるために、健康や安全に関わる内容(体育祭の旗やポスター、防災訓練へのお礼状等)が題材として取り上げられている。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・国語と関連する古典教材や年賀状、旧暦月名など伝統的な言語文化に関する題材が掲載されている。また、文字文化を様々な側面から取り上げたコラムを通して、日本の伝統や文化、さらには外国の文字文化を尊重するよう工夫されており、県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名の字源となった漢字の歴史やいろは歌などにより日本の伝統と文化を尊重し、他国を尊重する態度も養える内容が掲載されている。また、身のまわりの文字文化に触れることで、文字の役割や文字を手書きすることの意義が認識できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の変遷や短冊、色紙や伝統芸能などのコラムを豊富に掲載し、文字に対する興味・関心を高める教材が設定されている。また、書き初めや季節の行事の活用例、硬筆教材においても伝統と文化を尊重し、我が国の郷土を愛する心情が育てられるよう配慮されている。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ポイントを見やすくまとめるなど、生徒が主体的に学べるように工夫されている。「文字のいずみ」には文字や書写に関する豆知識や歴史が掲載されており、生徒の関心を高め、向上心をもって取り組めるように配慮されている。また、巻末の「書写活用ブック」には、書写の学習を学校生活や社会生活で活用できるようまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」「学びを広げる」において、書写で身に付けた力を活用する具体的な活動や知識、さらには高校書道の内容である「臨書」が取り上げられており、生徒一人一人の個性に応じて向上心や探究心をもって取り組めるよう、配慮されている。巻末の「資料編」では書写の学習を日常生活で生かせるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習を生かして書く」「学校生活に生かして書く」ではノートやレポート・新聞・ポスターの作り方等にも触れられており、学習を多様に広げることができるよう配慮されている。また、「知ってる？」やコラム等には歴史や知識が多く掲載されており、生徒が自分の状況に合わせて探究心や向上心を高めていけるように工夫されており、学校の教育方針等に適合している。

(種目：書写)

推薦	
観点	発行者：38 光村図書 ----- (書名：中学書写)
①	<ul style="list-style-type: none">・「目標」と「振り返り」が設定され、学習の流れを端的に示し、主体的な学習につながる構成となっている。また、考え、確かめ、生かすという流れを通して、基礎・基本の定着と学んだことを他の学習や生活に生かすことができるよう配慮されている。・「学習の窓」として学習のポイントが明示されている。また、「書写ブック」では毛筆の学習を生かして硬筆で書く活動が多く設定されている。
②	<ul style="list-style-type: none">・目標や自分の好きな座右の銘等を書く活動が設定され、自分自身と向き合うことができるよう配慮されている。手紙やはがきを書く活動を通して、相手を尊重する態度を養うよう工夫されており、県の施策に適合している。
③	<ul style="list-style-type: none">・書く楽しさや季節の言葉を書いて味わう題材、自分の好きな言葉を表現する題材が取り上げられ、心身の健康を涵養する工夫が見られる。
④	<ul style="list-style-type: none">・古典文学や短歌、俳句を書いて味わう活動や書き初めの体験を通し、伝統的な言語文化への理解を深められるよう配慮されている。また、日常に見られる様々な文字や用具の製造工程などを取り上げ、文字への意識を高めるよう工夫されている。
⑤	<ul style="list-style-type: none">・巻頭の「書写ブック」では学びを深めるための内容が書き込み式で用意されており、自主学習に対する工夫がされている。また、従来の書写の枠にとらわれない「やってみよう」「コラム」「学校生活」など、自分で考え判断する要素が豊富な発展的活動が設定される等、向上心・探究心をもって取り組むことができるよう配慮されている。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：社会(地理的分野))

推薦	○		
観 点	発行者：2 東京書籍 (書名：新しい社会 地理)	発行者：1 7 教育出版 (書名：中学社会 地理 地域に学ぶ)	発行者：4 6 帝国書院 (書名：社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土)
①	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の学習を「探究課題」「探究のステップ」「学習課題」の3段階の「問い」を軸とした課題解決的な構成となっており、主体的に学び続けられるような工夫がされている。 学習課題と関連した「見方・考え方」「みんなでチャレンジ」のコーナーを設け、深い学びにつながる工夫がされている。 「地域の在り方」では、社会への効果的な提言をするために必要な技能を身に付ける「スキル・アップ」を設け、より良い地域づくりに積極的に参画する意識を養うような工夫がされていること等から、県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の見出しに副題を付けて見通しをもって主体的に学習が進められるよう配慮している。また、「学習課題」を明示し、課題意識をもって主体的に学習に取り組めるようにしている。 学習課題と関連した「確認」と「表現」のコーナーを設け、話し合いなどの表現活動を取り組めるような工夫がされている。 「地域のあり方」では、農村・都市の課題や身近な地域の課題を見つめ直し、課題を解決する方法を考察・構想するような工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「章の問い」「節の問い」「学習課題」を設け、見通しをもつて主体的に学習に取り組めるように配慮している。また、二次元コードから動画でも、地域の姿を概観できるように工夫されている。 学習課題と関連した「確認しよう」「説明しよう」のコーナーを設け、「説明しよう」では学習を深める工夫がされている。 「地域の在り方」では、生徒自身が住む地域に見られる課題の分析と、その解決に向けた構想に本格的に取り組めるような工夫がされている。
②	<ul style="list-style-type: none"> アジア州における「もっと地理」では、イスラム教の人々と暮らしを取り上げ、異文化を尊重し正しく理解するように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域から世界を考えよう」では、多様性や民族問題、国境を越えて移動する人々などの問題について幅広く学べる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「未来に向けて」の「共生」では、9つのテーマを設定し、人種差別や移民などの問題について、共生社会の実現の視点で学べる工夫がされており、県の施策に適合している。
③	<ul style="list-style-type: none"> 「自然災害と防災・減災への取り組み」では、防災について写真や図を効果的に使用し、防災対策と防災意識が高められるようにしている。また、「もっと地理」では、災害のメカニズムや命を守る取り組みが深められるように工夫されている。 東北地方の「過去の継承と未来に向けた社会づくり」では、東日本大震災をはじめとした過去の災害の教訓をどのように生かそうとしているか考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自然災害に向き合う」「災害から身を守るために」では、防災について写真や図を効果的に使用し、防災対策と防災意識が高められるようにしている。また、「地理の窓」では、液状化現象や津波防災教育を取り上げられている。 「現代日本の課題を考えよう」の「震災の経験を受け継ぎ、未来に生かす」では、東日本大震災の教訓をどのように生かそうとしているか考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「日本の様々な自然災害」「自然災害に対する備え」では、防災について写真や図を効果的に使用し、防災対策と防災意識が高められるようにしている。また、「技能をみがく」では、「ハザードマップの読み取り方」「防災情報の入手のしかた」を取り上げている。 「地域の在り方を考える」の「災害からの復興と生活の場の再生」では、東日本大震災の教訓を生かそうとしている地域の事例を取り上げている。
④	<ul style="list-style-type: none"> 日本の諸地域では、伝統的な工場産業、伝統行事・伝統文化等を取り上げて、我が国や郷土に対する理解や愛情を深められるようにしている。 世界の諸地域では、導入でSDGsを理解させる活動を取り上げ、国際社会が抱える諸課題の理解を促す工夫が見られる。 我が国が抱える領土をめぐる問題を学習する単元を設けて、地理的な背景を取り上げ、問題を正しく理解できるように構成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の諸地域では、伝統文化、地場産業、祭り等を取り上げ、伝統や文化を継承し、我が国や郷土に対する理解や愛情を深められるようにしている。 世界の民族と言語、宗教と暮らしの関わりを取り上げ、国際的な見地から多面的・多角的な考察を促す工夫が見られる。 我が国の領域を大観し、北方領土・竹島・尖閣諸島の位置や範囲について、歴史的経緯も踏まえて詳しく理解しやすい構成にしていること等から、県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域、日本の諸地域ともに、自然環境、生活・文化、産業をバランスよく扱うことで、正しい国土理解と偏見に陥らない異文化理解が行えるように扱っている。また、国際的な見地を意識し、SDGsに関する題材を世界・日本ともに多く取り上げる工夫が見られる。 日本の領域とその特色を丁寧に解説し日本の立場が国際法に則っていることを理解すること等から国際社会を尊重する姿勢を養えるよう配慮している。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 知識・概念や技能の確実な定着を図るために、「用語解説」「スキルアップ」や活用するコーナーを設けている。 小集団での参加型学習「みんなでチャレンジ」を設けることで、対話的で深い学びが実現できるよう工夫している。 主体的に社会に参画する態度を養えるように、日本各地を働く人々のインタビューを充実させ、身近なものとして捉えられよう工夫していること等から学校の教育方針等に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本的な知識・技能の定着を図るために、「地理にアプローチ」「地理の技」のコーナーを設けている。 世界の各州や日本の各地の事例をもとに、今日的な課題に迫る特設ページを設け、学び合いが深められるよう工夫をしている。 主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるように、地域の課題を解決する方法を考察・構想できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本的な知識及び技能の定着を図るために、学習効果の高い画像資料、「技能をみがく」コーナーを設けている。 学び合いのきっかけとなる、実社会の人々の具体的な話を紹介するコラム「声」を設け、工夫をしている。 主体的に社会に参画する態度を養えるように、各節に「節の学習を振り返ろう」を設け、地域に見られる課題を解決できるよう工夫している。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：社会(地理的分野))

推薦	
観点	発行者：116 日本文教出版 (書名：中学社会 地理的分野)
①	<ul style="list-style-type: none">・「追究するテーマ」や「学習課題」を設けており、各州・各地方の姿を概観し、主体的に学習に取り組めるように工夫している。・学習課題と関連した「見方・考え方」「深めよう」のコーナーを設け、深い学びにつながるように工夫されている。・「地域のあり方」では、地域の課題を見い出し、地域社会の形成に参画し、発展に努力しようとする構想の具体例を紹介することで、社会参画への意欲を喚起するような工夫がされている。
②	<ul style="list-style-type: none">・「自由研究」「地理+α」で紛争、多文化共生社会などを取り上げ、人権問題や共生社会について学べる工夫がされている。
③	<ul style="list-style-type: none">・防災について、日本の地域的特色と地域区分を地震・火山災害、気象災害それぞれから学ぶことができるように、写真や図を効果的に使用し、防災対策と防災意識が高められるようにしている。・東北地方では、東日本大震災を大きく取り上げ、震災後の社会の変化や震災の伝承の取組、災害に強い地域づくりを深く学ぶこと等から、県の施策に適合している。
④	<ul style="list-style-type: none">・日本の諸地域では、人々の生活場面を豊富に掲載して、我が国や郷土に対する理解や愛情を深められるようにしている。・世界の諸地域では、人々の生活場面を豊富に掲載し、多文化共生社会の重要性を認識できるような工夫が見られる。・歴史的背景を踏まえて、日本の領域とその保全のための様々な活動を取り上げ、我が国の立場と国際社会との関係を理解できるように構成している。
⑤	<ul style="list-style-type: none">・基礎的な知識・技能の確実な定着を図るために、学習課題に対応した「確認」「スキルUP」の特設コーナーを設けている。・対話的で深い学びを実現するために、「アクティビティ」コーナーを設け、学び合いができるよう工夫している。・社会の参画者を育てるために、主体的・対話的に地域の将来に向けて構想できる教材などを設定し、工夫している。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：社会(歴史的分野))

推薦			
観点	発行者：2 東京書籍 (書名：新しい社会 歴史)	発行者：17 教育出版 (書名：中学社会 歴史 未来をひらく)	発行者：46 帝国書院 (書名：社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き)
①	<ul style="list-style-type: none"> 単元(章)の導入部で、導入貫活動を通して単元全体を大きく「探究課題」を立て、1単位時間の「学習課題」や「チェック&トライ」、節ごとの課題である「探究のステップ」の積み重ねを通じて解決する、「問い」を軸に構造化された課題解決的な学習の流れで、「主体的な学び」が実現できるよう工夫されている。 主体的に社会に参画する態度を養うために「地域の歴史を調べよう」で、時代が異なる六つの事例を紹介し、「テーマの設定→調査→考察→まとめ」の流れで構造化して示すことで、よりよい社会の形成者としての資質を養う工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> タイトルには、学習内容を象徴的にイメージさせる主題と、学習事項を示す副題をおき、併せて「学習課題」を明示することで、生徒が課題意識をもつて主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。また、歴史資料の読み解きを示唆する「読み解こう」や「Q」などの問いを設け、時代の特色を考察する学習を重視している。 「歴史学習の終わりに～歴史を振り返って、未来を構想しよう」では、これからの社会を築いていくために、自分たちは何ができるのかを考察・構想し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 章・節・各本文ページそれぞれの冒頭に、単元を貫く問いを設け(「章の問い」「節の問い」「学習課題」)、生徒が学習の見通しをもてるように工夫されている。また、節の冒頭に、紙面全体にわたる大観をイラストから各時代を概観する特設「タイムトラベル」を設け、学習の動機づけや方向付けを支えている。 第2部第5章(近代後半)では、世論の影響から社会の争いに向かう動きが加速されたとの双方を、丁寧に記述し、周囲の空気に安易に流されず、多面的・多角的な考察の意を主体的に社会参画していること等から県の施策に適合している。
②	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史にアクセス」では、ピザを発行し続けた杉原千畝を取り上げ、人道的な態度を養う等、道徳教育への配慮がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史を探ろう」では、杉原千畝がユダヤ人を救うためにピザを発行し続けたことを取り上げ、道徳教育への配慮がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「はじめに」では、歴史学習の社会的・人間的な意義を生徒に語りかける等、道徳教育に関する配慮がみられ、県の施策に適合している。
③	<ul style="list-style-type: none"> 「もっと歴史」では、歴史上の震災を取り上げ、防災や安全についての意識を高め、安全な町づくりに主体的に参画する意識を養うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史を探ろう」では、関東大震災と後藤新平が行った震災復興計画を取り上げ、当時の復興事業が現在にもつながっていることを学ぶことができ、県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「未来に向けて」では、東日本大震災について取り上げている。大震災を機に、エネルギーの確保や日々の生活の大切さを考えさせる内容になっている。
④	<ul style="list-style-type: none"> 文化史に十分な紙面を割き、我が国の伝統や文化を著実に理解できるように配慮されている。また、「もっと歴史」では、琉球文化やアイヌ文化を取り上げている。 国宝・重要文化財、世界遺産、世界の記憶、無形文化遺産にマークを付け、文化財を通して我が国の伝統や文化に対する理解と愛情を育てられるように構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各時代の文化に十分なページを充て、それぞれの特色をとらえることのできる資料を豊富に掲載している。また、琉球文化やアイヌ文化を各時代の学習の中で拡充して扱っている。 国宝や重要文化財、世界遺産に登録されている遺跡や景観にマークを付けて紹介し、日本の伝統的な文化とともに、世界の多様な文化について理解を深められるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各時代の文化史に十分な紙面を割き、文化財等の写真やイラストを豊富に掲載し、文化の担い手の努力や工夫を描いている。また、琉球やアイヌの歴史や文化は、本文と特設で重点的に扱っている。 巻末に日本の世界遺産一覧を掲載するほか、世界遺産と「世界の記憶」、国宝にマークを付けた文化財を通して我が国の伝統や文化に対する理解と愛情が深められるように構成されている。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 各章に「基礎・基本のまとめ」ページが設定され、巻末の用語解説も充実していることかを定着するような工夫がなされている。 各章ごとにチャート形式で意図を見交わすページが掲載されており、主体的・対話的で深い学びを促す工夫がなされている。 導入資料が大きく見やすい。また資料内容も充実しており学ぶ楽しさを感じ、意欲が高まるように配慮されている。 持続可能な社会に向けて歴史に学ぶことを意識した構成となっており、公民的分野の学習につながる工夫がなされていること等から、学校の教育方針等に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学習を始めよう」「確認/表現」「学習のまとめと表現」などの項目が掲載されており、基礎的・基本的な内容を定着するような工夫がなされている。 時代の特色を考える関係図の作り方や意見交換の場が設定され、主体的・対話的で深い学びを促す工夫がなされている。 興味・関心を喚起する写真資料が豊富に盛り込まれ、学ぶ楽しさを感じ、意欲が高まるように配慮されている。 現代の課題を歴史の流れから考える工夫がなされており、公民的分野の学習につながる工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各節が「学習課題」「本文」「確認しよう」「説明しよう」という構成になっており、基礎的・基本的な内容を定着するような工夫がなされている。 各時代の特徴について考える「タイムトラベル」が掲載されており、主体的・対話的で深い学びを促す工夫がなされている。 時代の特徴を表す写真資料やグラフなどが多く掲載されており、学ぶ楽しさを感じ、意欲が高まるように配慮されている。 「未来に向けて」という未来の社会を作るための取組が43テーマ設定されており、公民的分野の学習につながる工夫がなされている。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：社会(歴史的分野))

推薦			○
観点	発行者：8.1 山川出版社 (書名：中学歴史 日本と世界)	発行者：1.1.6 日本文教出版 (書名：中学社会 歴史的分野)	発行者：2.2.7 育鵬社 (書名：[最新]新しい日本の歴史)
①	<ul style="list-style-type: none"> 1テーマを見開き2ページとし、歴史の流れが無理なく学べるテーマ構成をしている。各テーマ冒頭に、そのテーマを理解するための発問を付し、本文を読む視点を示している。また図版を大きく、見やすくし、どこに注目すべきかを示唆することで、生徒が課題意識をもって主体的に学べるよう工夫されている。 「身近な地域を調べよう」では地域学習の方法を具体的な例で示すとともに、「地域からのアプローチ」で7地域を取り上げ、紹介し、現代に生きる私たちとその時代のつながりを考えさせる工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1授業時間を見開き2ページを原則とし、何を学ぶのか、どのような視点や方法に着目して学習を進めるのかを、「学習課題」と「見方・考え方」で明確に示している。また、生徒が主体的に見通しをもって、考察を進め、学習を振り返り、学びの成果や自己の成長を確認できるように単元構成されている。 主体的に学びを日々の生活や社会に活かすために、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、歴史の学習の最後に、よりよい未来を構想する教材を設定し、新しい時代を築く社会の参画者を育てるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために「つかむ→調べる→まとめる→表現する」問題解決型学習の教材配列で、知識・思考・判断・表現の一体化を図っている。また、各章「○○の世界へようこそ!」、巻末の「歴史学習のまとめ①②」では、課題と主体的に向き合うための設問を用意し、工夫している。 各章末の「『私の歴史博物館』をデザインしてみよう」では、生徒自身が歴史博物館の学芸員になったつもりで展示方法を考えることで、各時代の特色を深く捉え、様々な情報を効果的に調べまとめられるように工夫されている。
②	<ul style="list-style-type: none"> 「第二次世界大戦」では、ピカソが描いた「ゲルニカ」を通して、生命を尊ぶ態度を養う等、道徳教育への配慮がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「先人に学ぶ 命の尊さ」では、エルトゥールル号遭難事件について取り上げ、たがいの命を尊重する態度を養う等、道徳教育への配慮がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史新聞のまとめ」では、エルトゥールル号遭難事故を取り上げ、人命救助のために尽くした日本人の道徳心を学ぶことができる。
③	<ul style="list-style-type: none"> 「今の日本、これからの日本」では、東日本大震災等、日本で起きた震災を取り上げ、防災対策への意識を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「災害の歴史に学ぶ」では、近年の災害について、防災・減災に対する先人の取組をふまえ、災害に強い社会の実現への意識を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史のズームイン 震災の日本史」では、過去日本に起きた災害を取り上げ、伝承や教訓を後世に伝えていくことの重要性を学ぶことができる。
④	<ul style="list-style-type: none"> 文化史に十分な紙面を割き、史料を読み解く工夫が見られ、我が国の伝統文化を理解できるように構成されている。特設ページでは琉球とアイヌの歴史と文化を取り上げている。 見返しに日本の世界遺産の一覧を掲載するほか、世界遺産と国宝の写真にはマークを付け、文化財を通して我が国の伝統や文化に対する理解と愛情が深められるように構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化史に十分な紙面を割いて、文化財等を丁寧に解説しており、我が国の伝統や文化を理解できるように構成されている。また、琉球やアイヌの文化に関する教材が充実している。 巻末に日本の主な出来事や史跡一覧を掲載するほか、世界遺産と国宝の写真にはマークを付け、我が国の伝統や文化に対する理解と愛情が深められるように構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化史に十分な紙面を割くとともに、「外国人が見た日本」では外国人の視点を紹介し、複眼的に我が国の伝統や文化を理解できるように配慮されている。また、琉球やアイヌの文化を取り上げている。 巻末に日本の世界遺産と主な遺跡・史跡を掲載するほか、世界遺産と国宝の写真にマークを付け、我が国の伝統や文化に対する理解と愛情が深められるように構成されていること等から、県の施策に適合している。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 説明を要する用語の解説が同ページ内に掲載されており、基礎的・基本的な知識を定着する工夫がなされている。 「身近な地域を調べよう」や「歴史を考えよう」など、調べ学習に関するページが充実しており、主体的・対話的で深い学びを促す工夫がなされている。 写真資料に対する問いが多く掲載されており、学ぶ楽しさを感じ、意欲が高まるように配慮されている。 国際情勢や人権などを意識したまとめ学習が設定されており、公民的分野の学習につなげる工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の右ページ側注欄に「確認」が設けられ、基礎的・基本的な知識を定着する工夫がなされている。 各時代のまとめに習得した知識を関連させて時代の特色をとらえる「アクティビティ」を設け、主体的・対話的で深い学びを促す工夫がなされている。 時代像を具体的にイメージできる資料が豊富に掲載されており、学ぶ楽しさを感じ、意欲が高まるように配慮されている。 「『歴史との対話』を未来に活かす」では、現代社会の諸課題について歴史的背景を明らかにし、公民的分野の学習につなげる工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章に「このころ世界は」を設け、世界的な歴史の流れや各時代の基礎的・基本的な知識が定着する工夫がなされている。 各章の最初に「鳥／虫の目で見ると」という時代の特徴を捉えるページが掲載されており、主体的・対話的で深い学びを促す工夫がなされている。 写真、地図、年表、文字史料など、資料全体が充実しており、学ぶ楽しさを感じ、意欲が高まるように配慮されている。 日本の現状だけではなく、領土問題や地域紛争などの国際社会を生きる上で必要な知識が充実しており、公民的分野の学習につなげる工夫がなされている。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：社会(歴史的分野))

推薦	
観 点	発行者：2.2.9 学び舎 (書名：ともに学ぶ人間の歴史)
①	<ul style="list-style-type: none">・主体的な学習を深めるために、「学習内容の構造化と焦点化」を重視している。また、見開き2ページの左上に大きな図版を配置し、観察して様々な発見や疑問が出るようにしている。さらに、疑問や問いをもって、歴史の事象や課題について多面的・多角的に考える力を培えるように工夫されている。・特設ページ「歴史を体験する」では、火おこしや糸紡ぎなどの体験学習を詳しく紹介したり、インターネットや博物館などを利用した調べ学習、体験者からの聞き取りやまとめ方、討論の方法などの学習を丁寧に紹介したりしている。
②	<ul style="list-style-type: none">・ハンセン病患者に対する隔離政策を取り上げ、ハンセン病への理解や偏見による過ちを伝えることで道徳教育について配慮したものとなっている。
③	<ul style="list-style-type: none">・東日本大震災の被災地の復興と防災への意識を高め、科学技術と環境への関係を考えることにより、生命を尊び環境保全に寄与する態度が養えるよう工夫されている。
④	<ul style="list-style-type: none">・文化は、文化遺産や作者名だけでなく、文化を生み出した人々の願いと社会の状況、文化を継承した人々の営みなどを具体的に描いている。また、琉球やアイヌの文化を取り上げている。・各章の導入では、北極を中心とした世界地図を描き、各地の様子を表す写真や絵を配置して、グローバルな視点で時代をとらえられるように工夫されている。
⑤	<ul style="list-style-type: none">・各章ごとに振り返り学習が設定されており、基礎的・基本的な知識を定着する工夫がなされている。・地域の歴史について調べ、発表する方法が掲載されており、主体的・対話的で深い学びを促す工夫がなされている。・教科書のサイズが大きいいため、資料も大きく掲載されている。また、写真資料の説明が最小限となっており、授業展開をする上で使用しやすいつくりになっている。・平和学習に関する項目が充実しており、公民的分野の学習につなげる工夫がなされている。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：社会(公民的分野))

推薦			
観点	発行者：2 東京書籍 (書名：新しい社会 公民)	発行者：1.7 教育出版 (書名：中学社会公民 ともに生きる)	発行者：4.6 帝国書院 (書名：社会科中学生の公民 公民よりよい社会を目指して)
①	<ul style="list-style-type: none"> 「探究課題」「学習課題」「探究のステップ」「チェック＆トライ」の積み重ねを通じて解決する、「問い」を軸に構造化された課題解決的な単元構成となっており、「主体的な学び」が実現できるように工夫されている。 各単元の学習で、概念の理解を深められる問いを「見方・考え方」で示し、深い学びが実現できるように工夫されている。 「18歳へのステップ」を設け、社会参画への意識を高めるためたり、「みんなでチャレンジ」では、対話的な活動をしたりと等から県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入に「学習のはじめに」を見開きで設け、学習内容と章全体の見通しをもって、主体的に学べるように工夫されている。 その章の学習において着目すべき概念的枠組みとして「見方・考え方」を明示し、深い学びが実現できるように工夫されている。 主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、「私の提案『自分を変える、社会を変える』をつくるう」では、自分には何ができるのか考え、表現させるような工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的な学び」を実現するために、章・節・各本文ページそれぞれの冒頭では、学習する内容を問い形式で示し、生徒が見通しをもって学習できるように工夫されている。 各章の末尾の「章の学習を振り返ろう」では、「見方・考え方」を取り入れて、深い学びが実現できるように工夫されている。 「アクティブ公民」では、様々な立場を踏まえての合意形成を目指す議論を促し、社会に見られる課題の解決に向けた選択や判断に取り組む活動ができるような工夫が見られる。
②	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法で保障する基本的人権について丁寧に説明し、踏まえていながら、男女の平等や高齢者、障がい者、外国人との共生について考えさせるところを工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「憲法が保障する基本的人権」では、社会の中にある差別としての差別、外国人に対する差別等を取り上げている。障がい者に対しては、合理的配慮という考え方を紹介し、共生社会の実現に向けて考えるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 特設ページ「よりよい社会を目指す中学生」の作文や、様々な組の事例を通じて、「個人尊重」の重要性を共感を持って理解し、個人の価値を尊重しつつ、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるよう工夫されている。
③	<ul style="list-style-type: none"> 「もっと公民」で、東日本大震災の具体的な事例を提示しながら、行政の様々な取り組みや人々の協力を取り上げ、防災や安全の意識や態度を養えるような構成になっており、県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 公害問題と環境保全の取組、身近なごみ問題、地球規模の環境問題についての理解を深め、環境への負荷を軽減する循環型社会の実現のために協働や個々の行動が不可欠であることを自覚できるように構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県神戸市における防災・減災を通じた社会参画の事例を通して、主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養えるように工夫されている。
④	<ul style="list-style-type: none"> 第1章第2節「私たちの生活と文化」では、日本の多様な伝統文化、継承の課題を取り上げ、多文化共生について理解を深める内容となっている。 「グローバル化」では、国際競争と国際分業の現状を取り上げ、「これからの地球社会と日本」で日本の国際協力の在り方を考える構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1章第2節「現代につながる伝統と文化」では、多様な日本文化を取り上げ、続く「読んで深く考えよう」で日本の美徳などを考える構成になっている。 「つながる私たちと世界」「グローバル化する経済」でグローバル化の現状を、その後の項目で様々な価値観を受容する必要性を考える構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「日本の伝統と文化」では、年中行事や「和」の精神を取り上げ、続く「文化の継承と創造の意義」で狂言を事例により深く考える構成になっている。 「グローバル化が進む現代」では、多文化共生を取り上げ、「グローバル化が進む国際社会」で揺れる国際社会の秩序について考える構成となっている。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 「現代社会と私たち」の3節で設定されている「現代社会の見方や考え方」では、生徒が社会集団の中で生きていくために必要な決まりや決まらざるべきことを基礎として、3節で学習した「対立と合意」「効率と公正」という見方・考え方は今後の学習でも生かすことができるよう理解を深める。「みんなでチャレンジ」では、本文での学習内容を確実に理解させ、話し合いなど対話的な活動を通じて多様な意見に触れながら学習を深め、価値観や意思決定の深行を深めるよう考慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読んで深く考えよう」では、資料を読み、深めていくテーマ学習が6テーマ設定されており、生徒に主体的な学習を促すような工夫がなされている。また、学習活動を中心とした「言葉で伝え合おう」が6テーマ設定されており、課題解決に向けた学習が主体的に展開されるよう分量が適切に配分されている。生徒が主体的に学び、共に高め合うことができるよう体験的な学習や問題解決的な内容構成になっている。また、章末には「学習のまとめ」として「学習の振り返り」を設定し、基礎的な学習が定着し、発展的な学習が行えるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「未来に向けて」では、グローバル化や人権等よりよい社会を形成するために参考になる取組を12テーマ紹介している。また、「公民プラス」では、学習内容に関する実社会の動きを紹介しており、基礎的な内容を更に深めることができる。「Yes No」や「アクティブ公民」では、自分の意見を理由と共に説明したり、話し合ったりする機会を通して、生徒が主体的に学び、共に高め合うことができるよう体験的な学習や問題解決的な内容構成になっている。また、「課題の探求」では、レポートとして論述する手順を主体的に身に付けられるよう考慮されている。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：社会(公民的分野))

推薦	○		
観点	発行者：116 日本文教出版 (書名：中学社会 公民的分野)	発行者：225 自由社 (書名：新しい公民教科書)	発行者：227 育鵬社 (書名：最新 新しいみんなの公民)
①	<ul style="list-style-type: none"> 新しい事例や、生徒に身近で話題性のある事例を積極的に掲載したり、今日的課題を考えることができる豊かな教材を掲載したりして、生徒が課題意識をもって取り組めるように工夫されている。 深い学びの実現に向けて、編の学習における「習得・活用・探究」の学びの過程の中で、「見方・考え方」を繰り返し働かせられるように工夫されている。 社会参画をうながすために「明日に向かって」を全編通して設け、日本の社会や世界の状況を幅広く視野に入れられるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階を考慮し、生徒が基礎的な意味を理解できるように基礎的事項を厳選し、体系的に整理し、再構成することで、主体的で深い学びができるように工夫されている。 単元に準じた「もっと知りたい」の欄を設け、ものごとを根源的に考え、生徒の生きる態度の形成に手助けするとともに、自主的に学習できるように工夫されている。 各章の最後の「学習のまとめと発展」、終章のレポート、卒業論文、ディベート等において、公民として必要な主体性を伸ばしていく工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習に対する興味・関心を高め、内容の理解へとまぐ過程(つかむ、調べ、まとめる)を紙面に構成し、生徒が主体的に学習できるように工夫している。 基礎的な知識・技能を、実社会や実生活の中で活用できるように、「現代社会の見方・考え方」を習得し、多面的・多角的に考察できるよう工夫している。 現代社会の課題に主体的に向き合う多様な教材を掲載することで、公民として必要な資質を養えるよう工夫している。
②	<ul style="list-style-type: none"> 「公共の福祉」では自由と責任、「まちづくりに参加しよう」では公共の精神、「イスラム文化」では相互理解というように、教科書全体を多数採用し、よりよい社会の実現に努められるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「権利の平等と社会権」では、すべての国民は法の下に平等であり、平等権、社会権について丁寧に説明されている。また、「もっと知りたい」では、権利の平等に関する問題、新しい権利を取り上げ、課題について考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的人権を尊重する態度を養うために、歴史的分野の学習の成果を生かしながら、日本国憲法の平等権や政府の政策を交えて説明し、理解を深められるように工夫されている。また、特設ページで在日外国人、部落差別、アイヌ民族を取り上げて県の施策に適合している。
③	<ul style="list-style-type: none"> 特設ページ「災害に強いくらしをきずく」「災害にそなえるには」を設けて、東日本大震災における取り組みを紹介し、自助・共助・公助の仕組みについて深く考えられる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「環境保全と私たちの責任」では、環境破壊や公害を契機として法整備が進んだことを紹介し、環境保全や資源循環型の社会について考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特設ページ「情報と大規模災害」を設けて、東日本大震災を情報化との関連で取り上げて、防災情報の発信・活用に関しても学べるような構成になっている。
④	<ul style="list-style-type: none"> 「日本の伝統文化の特徴と多様性」では、年中行事や文化の創造を取り上げ、「世界の中の日本の文化」で文化の多様性を尊重する内容となっている。 「グローバル化する社会で生きる私たち」で国際協力の意義を考え、「グローバル化と地域統合」で利点と問題点について考える構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「日本の自画像」「文化の継承と創造」で日本文化や自然との共存を紹介し、続く「もっと知りたい」で日本人の精神について深く掘り下げている。 「グローバル化が進む社会」で現代世界の変化を取り上げ、「アクティブに深めよう」でグローバル化と生活の変化について考える構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1章第2節「現代社会の文化と私たちの生活」では、生活と伝統文化の関わりや日本文化の継承と創造について、トピックを活用し、丁寧に記述している。 「文化と宗教の多様性」では、グローバル化時代の国境を越えた文化の交流と多様性を紹介し、他国を尊重する態度を養うような構成になっていること等から県の施策に適合している。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 「見方・考え方」などを用いて、学習内容の理解を深める主体的・対話的な問いや、活動を示す「アクティビティ」では、自ら学び、思考し、表現する力の育成を達成するための課題研究学習を設け、生徒の興味関心を喚起するように工夫されている。「公民+α」では、内容に関する事項を掘り下げ、学習内容の理解を深められるよう配慮されている。「チャレンジ公民」として、社会の課題について自ら学び、話し合い活動を通して共に高め合えるような考察・構想するページが設けられている。また、「私たちの課題」では、持続可能な社会を実現させるためのレポート課題が設けられ、発展的学習への配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「もっと知りたい」では、重要な事柄を深く理解するためのコラムが掲載されている。単元と共に学習することで、理解をより深めることができる。「アクティブに深めよう」では、協働学習を通して、生徒が主体的に学び、共に高め合うことができるように体験的な学習や問題解決的な内容構成になっている。また、多彩な歴史上の人物を取り上げることで、一連の史実を公民の学習に役立つ形で示すなど、地理・歴史分野に関連した内容が豊富に取り入れられている。「課題の探求」として、レポート、卒業論文、ディベートのやり方が紹介されており、表現力の育成を視野に入れた工夫がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入に見開きで「入り口」のページを設け、興味関心を喚起している。各章には、学習したことを詳しく説明したり、関連する情報を紹介したりして学習を深める「学習を深めよう」、学習に関連して個人や班で取り組める作業や活動を行う「やってみよう」活動が設けられ、基礎基礎をより確実にし、協働学習や話し合い活動を通して生徒自らが学び、共に高め合うことができる内容になるよう配慮されている。また、「よりよい社会をめざして」では、持続可能な社会を実現させるためのレポート作成やプレゼンテーションのやり方を丁寧に説明しており、発展的学習への配慮がされている。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：地図)

推薦	○	
観点	発行者：2...東京書籍 (書名：新しい社会 地図)	発行者：4.6...帝国書院 (書名：中学校社会科地図)
①	<ul style="list-style-type: none"> ・教育のICT化への取組として、インターネットを活用して、学習が効果的な部分には、Dマークを付け、目次の次元コードを読み取ることで、関連するワークシートや資料が活用できるように工夫がされている。 ・諸地域の学習で、探究課題に沿った学習をする際に活用できる資料を取り上げ、課題解決的な学習への主体的な取り組みをサポートしている。 ・キャラクターの吹き出しを設けることで、資料の理解を促し、深い学びの鍵となる「見方・考え方」を働かせて思考を深められるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育のICT化への取組として、学習を支援する二次元コードを各所に掲載し、パソコンやタブレット端末を用いて専用サイトにアクセスし、地図帳を補完する資料を閲覧できる工夫がされている。 ・気候と農業の関係性など、地理的な見方・考え方を働かせて主体的に学習できるように、関連する資料を国や州ごとに同縮尺で豊富に掲載されている。 ・地理的な見方・考え方やそれにつながる視点を主体的に学べるように作業コーナー「地図活用」(探究課題)を随所に設けていること等から県の施策に適合している。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代的な諸問題」として環境、エネルギー、人口・貧困、紛争・難民問題など世界が直面している諸課題を取り上げ、命の大切さや環境への配慮を考えさせる資料を掲載しており、県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界の環境問題」として地球温暖化、砂漠化、大気汚染について取り上げ、持続可能な社会への取り組みを紹介し、環境への配慮を考えさせる資料を掲載している。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・防災について「日本の自然環境(災害・環境問題)」が見開きで掲載されており、地震、津波、火山や気象災害を示し、ハザードマップの例を扱っている。また、九州や東北地方では、災害の資料を掲載し、防災の意識を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災について「日本の自然災害・防災」が見開きで掲載されており、東日本大震災の被害や日本の地震と火山の分布を示し、自然災害に対する備えやハザードマップの例を扱っている。また、地方ごとに災害をテーマとする資料が充実しており、県の施策に適合している。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の郷土料理や伝統工芸品等を紹介する地図や写真を掲載しており、我が国が世界に誇れる伝統や文化を理解できる。 ・SDGsに代表される世界的な課題について、分布図や写真等を活用して紹介されている。また、「世界全体」の内容が豊富で、グローバルな視点を意識した扱いになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の各地方の祭り、伝統的料理等を紹介する地図や写真を掲載しており、我が国が世界に誇れる伝統や文化を理解できる。 ・世界の環境問題、生活・文化について、分布図や写真等を活用して紹介されている。また、世界と日本のつながりや比較の資料が豊富で、グローバルな視点を意識した扱いになっていること等から県の施策に適合している。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が学習する上で必要な地図や資料が取り上げられている。地図や資料を読み取り、生徒が地理的事象をとらえ、学習を主体的に進めていけるように配慮されている。 ・諸地域を概観する「基本資料」と「テーマ資料」から構成されており、地図や資料を読み取る活動を通して、地域的特色を理解できるように工夫されている。 ・生徒が主体的に学習できるように読図の視点があり、巻末に地名索引と資料索引が設けられている。 ・巻末の統計資料は、世界と日本の様々な統計が表や図、グラフを活用して掲載されており、探究的な学習を進められるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に学習する上で必要となる地図や資料の内容が適切であり、バランスがよい。地図や資料を読み取り、生徒が基礎基本を身に付け、課題を解決できるように配慮されている。 ・豊富な資料で構成される諸地域の「資料」は、鳥瞰図、農業、工業等が地域ごとに取り上げられ、興味・関心を持って探究し、理解できるように工夫されている。 ・生徒が主体的に学習できるように「地図活用」が設けられており、巻末の索引も調べやすい。 ・巻末の統計資料は、国別、都道府県別の統計や主な産物のグラフが見やすく色分けされ、探究的な学習を進められるように配慮されていること等から学校の教育方針等に適合している。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書

(種目：数学)

推薦			
観点	発行者： 2 東京書籍 ----- (書名：新しい数学)	発行者： 4 大日本図書 ----- (書名：数学の世界)	発行者： 11 学校図書 ----- (書名：中学校数学)
①	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入では、日常生活の事象など、生徒の興味・関心をひく題材を取り上げ、新しい単元の学習の見通しを立てることができるように工夫されている。 章末の「深い学び」「学びを広げよう」では、いろいろな見方や考え方をを用いて、数学の有用性を実感できるように配慮されている。 「数学マイノート」では、「気づいたこと・疑問に思ったこと・大切だと思ったこと」などを記録して、学習したことを振り返ることができるようなノートの記録の仕方が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の最初の「数学の世界にようこそ」で、問題発見・解決の手順を示している。そして、單元ごとにその手順に従い問題を解決する例を示し、数学の問題を解決しようとする態度を養えるよう配慮されている。 「活用・探究」や「学びにプラス」では、学習内容を活用して、数学の世界を探究できる問題を紹介し、生徒の学習意欲が高まるように工夫されている。 「レポートを書こう」では、数学で学んだことをきっかけにして探究した内容を伝えるためのレポートの書き方が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「数と式」「関数」など領域の導入に既習事項の確認ができるように、「ふりかえり」のページが設定されている。 「Tea Break」という読み物は、数学史の内容や学習した内容をさらに深められるようになっていて、生徒の学習意欲が高まるように工夫されている。 「役立つ数学」では、身近な内容で数学が活用されている例を示し、自分で探究活動ができる素材を示している。そして、巻末の「表現する力を身に付けよう」では、自分の調べた内容を表現するレポートの作成やその発表の仕方が提示されている。
②	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の事象について考える課題が用意されていて、自分の考えを表現したり、他者の考えを聞いたりするなど、自他を尊重する態度を養えるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題発見・解決の過程で、「クラスの仲間と一緒に問題を発見・解決しよう」と、生徒が考えを表現し、話し合い、他者の考えを尊重する態度を養えるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 比例と反比例の素材に、「エコキャップ」を取り上げたり、2年生の巻末で「フェアトレード」を取り上げたりするなど、環境・人権問題等の道徳的側面についても配慮されており、県の施策に適合している。
③	<ul style="list-style-type: none"> 「地震のゆれの予測のしくみ」や「自動車の死角を考える」「渋滞学」などを紹介することで、防災や安全の意識を高めることができるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ランドルト環」や「車の制動距離」「地震のマグニチュードのエネルギー」について扱うなど、健康の保持増進や安全に関する意識を育むことができるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「地震の震源までの距離」や「地球温暖化」「車の制動距離」「風速と風圧」について考察するなど、防災や安全に関する意識を育むことができるように配慮されている。
④	<ul style="list-style-type: none"> 「日本の数学の歴史」を紹介するとともに、「東京2020オリンピックのエンブレムのデザイン」について掲載するなど、最新の数学の内容まで盛り込むことで我が国の魅力が発信されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「万華鏡の模様の見え方」や「東京2020オリンピックのエンブレムのしくみ」など、わが国の伝統や文化を掲載することによって、郷土や国を愛する心や誇りがもてるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「和算」や「SDGsの17の目標」「数学の歴史」について掲載するなど、郷土や国を愛する心をもつとともに、グローバル社会に対応した資質・能力を育むことができるように配慮されており、県の施策に適合している。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 目標や「考えてみよう」「調べてみよう」でわかりやすく学習課題が提示されていて、見通しをもって学習できるよう工夫されている。 巻末の「数学の自由研究」で発展的、問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「練習」「プラスワン」「たしかめよう」「ふり返ろう」で、段階的に学習できるよう工夫されている。 巻末の「Mathful」では、学習内容と日常を関連させた発展的な題材を扱い、数学が身近に感じられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> どのような過程で学習しているか明確になるように、帯をつけるなどして工夫されている。 各章末の「深めよう！」や巻末の「さらなる数学へ」で、補充的、発展的な問題にも触れることができ、授業の中で探究活動ができるよう工夫されている。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書

(種目：数学)

推薦	○		
観点	発行者： 17 教育出版 (書名：中学数学)	発行者： 61 啓林館 (書名：未来へ広がる数学)	発行者： 104 数研出版 (書名：日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの数学)
①	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入の前に、「○○を学習する前に」があり、前の学年までの既習事項を確認することで、生徒が系統的に考えることができるように配慮されている。 単元の導入「Let's Try」では、身近な事象と数学との関連を示すことで、生徒の興味・関心を引き出すように工夫されている。 単元末や巻末の「学んだことを活用しよう」では、日常生活と数学の関連を示して考えさせることで、生徒が思考力・判断力・表現力を養えるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活、地理や歴史に関する事柄、実験などの幅広い分野からの課題が取り上げられていて、吹き出しのあるイラストを用いて、他教科との関連を考えさせるなど、教科等横断的な視点の学習が適切に位置づけられている。 「数学ライブラリー」では、日常生活と数学の関連や数学史の内容を提示し、生徒の学習意欲を引き出せるように工夫されている。 学習しているページにQRコードが配置されるなど工夫が見られ、デジタル教材が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の初めに既習事項との関連を取り上げるなど、生徒が系統的に考えることができるように配慮されている。 単元の導入時に、日常生活に関連する素材を扱い、疑問を投げかけ、生徒の興味・関心を高め、問題解決的な学習が進められるように工夫されている。 別冊の「これからの数学 探究ノート」の中に、「探究的な学習」や「課題学習」があり、数学的な見方・考え方を働かせて、問題を解決していく構成になっている。そのため、問題解決の能力が高まるように配慮されていること等から、県の施策に適合している。
②	<ul style="list-style-type: none"> 「自分の考えをもと」「みんなで話し合おう」などの表示をして、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする場面を設け、自他を尊重する態度を養えるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人の考えを知ること、自分との違いを比較したり確認したりできる問題を設定し、主体的・対話的で深い学びの充実が図れるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数の学習に関連して、巻末の「数学旅行」では、LED電球の電力使用量を調べて、温室効果ガスの排出量を削減することを目指し、環境保護などの道徳的な配慮をしている。
③	<ul style="list-style-type: none"> 「ランドルト環」や「地震のマグニチュード」「車の制動距離」について取り扱うなど、健康の保持増進や防災安全について意識を高めることができるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「緊急地震速報」や「AEDの重要性」「災害から身を守る逃げ地図づくり」について取り扱うなど、安全や防災について意識を高めることができるように配慮されており、県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「地球温暖化」や「雷の発生場所」「車の制動距離」「地震の揺れ」などを紹介することで、防災や安全の意識を高めることができるように配慮されている。
④	<ul style="list-style-type: none"> 「和算」や「ミウラ折り」「日本の伝統模様」「さしがね」について掲載するなど、我が国の特色や魅力を発信することで、郷土や国を愛する心や誇りがもてるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「日本の伝統模様」や「ミウラ折り」など我が国の特色や魅力を掲載するとともに、他国の数学者や文化を紹介しているので、愛国心を育んだり、国際理解を深められたりするように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「薬師算」などの「和算」や「曲尺」「日本の伝統的な文様」など、日本独自の数学の発達や伝統・文化について掲載することで、郷土や国を愛する心や誇りがもてるように配慮されている。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 単元末の「学習のまとめ」や巻末の「学びのマップ」で基礎・基本の定着と振り返りができるように工夫されている。 「数学の広場」では身のまわりの数学的事象について様々な視点から探究できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 章末の「学びをたしかめよう」、「学びを身につけよう」で段階的に基礎・基本の定着ができるよう工夫されている。 「学びをいかそう」で一人一人が見通しをもって探究的に学習が進められるように工夫されていること等から、学校の教育方針等に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の「チャレンジ編」や「各学年のまとめ」で基礎・基本の定着ができるよう工夫されている。 「数学旅行」では発展的な内容を扱うことで、数学の楽しさや奥深さを感じられるよう工夫されている。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書

(種目：数学)

推薦	
観点	発行者： 116 日本文教出版 ----- (書名：中学数学)
①	<ul style="list-style-type: none">各章の前に、既習事項等の確認を行い、基礎・基本を定着できるように配慮されている。また、単元の導入時に身近なことがらを扱い、生徒の興味・関心を高められるよう工夫されている。「めあて」や「大切な見方・考え方」で、1時間の学習の課題や課題解決のヒントを提示し、生徒が主体的な学びを実現できるよう工夫されている。「数学のたんけん」では、学んだ内容に関連した生徒の興味・関心を高める内容や高等学校の学習につながる内容を提示し、生徒の探究的な態度を養えるように工夫されている。
②	<ul style="list-style-type: none">「学び合おう」では、他者と話し合ったことを巻末の「対話シート」に記入し、学習後に、ノートに貼ることができるようになっていて、対話的な学習ができるよう工夫されている。
③	<ul style="list-style-type: none">「地震のP波とS波」や「風の力」などを紹介し、防災の意識を高めたり、「暗号と因数分解」でインターネット上での安全について知ったりすることができるよう配慮されている。
④	<ul style="list-style-type: none">「和算」や「東京2020オリンピックのエンブレムのデザイン」など、日本の数学の歴史や伝統・文化について掲載することによって、郷土や国を愛する心や誇りがもてるように配慮されている。
⑤	<ul style="list-style-type: none">各章毎に段階的に問題が設定されていて、バランスよく学力を伸ばすことができるよう工夫されている。巻末の「マイトライ」では、発展的な内容を取り入れることで、生徒が探究活動に取り組めるよう工夫されている。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書

(種目：理科)

推薦			
観点	発行者：2 東京書籍 (書名：新しい科学)	発行者：4 大日本図書 (書名：理科の世界)	発行者：11 学校図書 (書名：科学)
①	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察が精選されたものとなっている。 章内に「探求をレベルアップ」する節を設定し、実験や観察において探究活動の充実が図られている。 主体的に学習を進めやすいように、学習活動を細かく分けて提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察が豊富で、様々な現象を生徒が直接体験できる内容になっている。 学習内容を日常生活に活用していくような探究活動が章末に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察が精選されたものとなっている。 「探究のCan-Do List」によって、実験や観察の目標を常に確認できるようにしている。 章末問題「学びを日常にいかしたら」では、学習内容を日常生活の問題に活用する力の育成を図っている。
②	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察の場面において、具体的な配慮が示されており、生物を愛護し、自然環境を保全する態度が育成できる。 他者との協働を促すキャラクターの対話により、協力する態度を育成するよう配慮されている。 「教科関連マーク」を使って道徳との関連がわかりやすく表記されていること等から県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察において、生命や環境に対する配慮がなされ、その意義が示されるなど、生命尊重や自然環境を保全する態度が育成できる。 「話し合おう」の課題が、設けられるなど、話し合い活動を通して、他者を尊重する態度が育成される。 関連する項目に環境マークが付けられ意識を高めるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生物単元の「Can-Do List」において、「生物を大切にし、むやみに傷つけない」ことを目標に挙げ、生命尊重の態度を育成するよう配慮されている。 4人のキャラクターが協力して探求する様子を示し、協力する態度を育成するよう配慮されている。 「1日先生体験」を通して他者のために活動する態度を養うよう配慮されている。
③	<ul style="list-style-type: none"> 「防災と科学」というコラムで、放射性物質について取り上げ、人体への影響と正しい利用方法について記載している。 「理科室の決まり」より、理科室の心得や誤った行動探しを用いて、実験器具の扱い等を考えさせている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「つながる」というコラムで熱中症の予防について取り上げ、健康と安全へ教科横断的な学習内容で記載している。 実験や観察における注意は、キャラクターが注意喚起を示し、生徒が注目しやすいような表記がされていること等から県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「理科のトリセツ」というコラムで実験室を使うコツから基本を学ばせ、実験や観察での安全な器具の使い方について、赤字で強調して記載している。 「サイエンスカフェ」というコラムで、防災や安全について取り上げている。
④	<ul style="list-style-type: none"> 「from Japan世界につながる科学」のコラムに単元の学習内容と実生活での関わりについて、詳細に記述され、日本の優れた・技術や研究者の記述が多くなっている。 日本の歴史や伝統に関わる記述もあり、日本の科学の発展についてわかりやすく示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歴史や伝統に関わる記述があり、生徒の興味・関心が高まる記述である。 チバニアンについての記述など、千葉県に関する資料が多く紹介されていること等から県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 最先端科学技術の情報を端的に厳選してまとめた記述となっている。 日本の伝統科学技術についても、厳選し、端的にまとめられている。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 単元で学んだ基礎的な事項を土台としてより発展的な内容を取り上げ、生徒たちの知的欲求に働きかけるものである。 「つながる科学」では、科学と生活や歴史について、生徒の発達段階に合わせた表現で簡潔にまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「科学のあしあと」や「つながる」のコラムでは科学史や健康についての扱いがあり、日常への活用も図られている。 「思い出そう」や「Science Press」では、小学校や高校との接続が強調されており、系統性をもたせている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「サイエンスカフェ」では、科学技術の応用と学習内容との関連が意識された内容となっている。 「理科のトリセツ」では、キャリア教育の観点も含め、学習する意義を明確に示している。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書

(種目：理科)

推薦		○
観点	発行者：17 教育出版 (書名：自然の探究)	発行者：61 啓林館 (書名：未来へひろがるサイエンス)
①	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察の項目が豊富で、生徒の体験的な理解を深める工夫がなされている。 ・章内の節に「探求してみよう」を設定し、実験や観察において探究活動の充実が図られている。 ・主体的な学習を促すよう、学習過程を細かく提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察を骨格とした構成で、主要な実験の他に体験的な理解を補完する実験が紹介されている。 ・豊富な実験や観察を生かして、生徒が主体的に学習を進め、より理解が深められるような工夫がみられる。 ・章末及び一部の実験や観察に探究活動を設定することで、学習内容と日常との関連付けや学びの深まりが図られていること等から県の施策に適合している。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・生命や地球を扱う単位では、生命の尊さや自然の豊かさに触れられるよう配慮されている。 ・「話し合おう」が設けられるなど、話し合い活動を通して、他者を尊重する態度が育成される。 ・「ハローサイエンス」のコラムにおいて、環境や情報モラルなど道徳的な内容に関して取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察の留意点が、生命愛護や環境保全の視点から、意義も含めて説明されているなど、生命や環境を大切にしている態度の育成が図れる。 ・「話し合ってみよう」が設けられるなど、話し合い活動を通して、他者を尊重する態度が育成される。 ・環境への意識を高めるよう、環境マークを表示している。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎技能として、理科室のきまりと応急処置について記載しており、絶対にしていけないことを禁止マークで強調している。 ・「ハローサイエンス」というコラムでは、人体の組織への影響等、健康や安全について記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイエンス資料「実験を正しく安全に進めるために」では、写真を活用し、適宜注意点やスキルについて丁寧に記載している。 ・医療や福祉の視点で、最新の科学技術から生活や健康に対して結び付けている内容が記載されている。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・科学者列伝において、日本の科学技術の発展に寄与された科学者を紹介した記述がある。 ・日本の科学技術や、チバニアンなどの記述など丁寧に説明されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統科学技術について、丁寧に記述されており、生徒の興味・関心が高まる内容となっている。 ・チバニアンについてのコラムがあり、日本の技術や日本人の業績について広く紹介されている。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・「ハローサイエンス」のコラムにおいて、発展的な内容や、生活との関連が紹介され、キャリア教育との連携も図られている。 ・日常に潜む科学や他教科の関連を扱うことで、教科横断的な取り組みの一助となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コラムが豊富で、食育やキャリア教育、他教科との関連が図られた内容となっており、教科横断的な学習が期待される。 ・「つながる学び」や「思い出してみよう」といった項目によって、小学校や高校での学習内容との関連を明確にしている。このことで、学習内容の系統性が意識され、高校との接続が図れること等から学校の教育方針等に適合している。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：音楽一般)

推薦	○	
観点	発行者：17 教育出版 (書名：音楽のおくりもの)	発行者：27 教育芸術社 (書名：中学生の音楽)
①	<ul style="list-style-type: none"> ・学びのねらいが明確に示す。この習いごと、楽器の演奏、音楽の鑑賞など、様々な音楽活動を通して、音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・「ACTIVE」の考え方を学ぶ。音楽活動を通して、自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ぶ。音楽活動を通して、自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の音楽文化の発展に貢献している。音楽活動を通して、自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の音楽文化の発展に貢献している。音楽活動を通して、自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の音楽文化の発展に貢献している。音楽活動を通して、自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の音楽文化の発展に貢献している。音楽活動を通して、自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。」という一文が、音楽活動を通して、自己表現やコミュニケーションを図ることが出来ることを示している。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。」という一文が、音楽活動を通して、自己表現やコミュニケーションを図ることが出来ることを示している。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。 ・音楽の楽しさや魅力を体験し、音楽を通じて自己表現やコミュニケーションを図ることが出来る。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：器楽合奏)

推薦	○	
観点	発行者：17 教育出版 (書名:音楽のおくりもの)	発行者：27 教育芸術社 (書名： 中学生の器楽)
①	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいと内容が明確に示され、主体的に学習に取り組めるよう、イラストや写真を効果的に用いている。 ・アンサンブル教材が豊富に掲載されるとともに、他者と協働して表現を創意工夫するための活動が示されるなど、対話的な学びが展開できるよう工夫されている。 ・和楽器や世界の諸民族の楽器を含め、幅広く多様な教材を取り上げられ、それぞれの基礎的な奏法が習得できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいと内容が明確に示され、主体的に学習に取り組めるよう、キャラクターの吹き出しやコラム等が工夫されている。 ・アンサンブル教材が豊富に掲載されるとともに、「深めよう！音楽」では、友達との交流を通して、器楽の学習を深めることができるよう、工夫されている。 ・親しみやすく、多様な楽器・曲種の教材が豊富に掲載され、基礎的な奏法が習得できるよう工夫されている。特に、和楽器や打楽器の扱いが詳細に示されていること等から県の施策に適合している。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との交流や協働による音楽活動を通して、自他の敬愛や協力を尊重する態度が養われるよう配慮されている。また、我が国の自然や文化を感じ取ることができる教材を取り上げ、美しいものや崇高なものを尊重する態度を育成できるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との交流や協働による音楽活動を通して、自他の敬愛や協力を尊重する態度が養われるよう配慮されている。また、和楽器の奏法と礼儀の関係性についても示され、我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成できるよう配慮されており、県の施策に適合している。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器を演奏する際の姿勢や無理のない体の使い方について、写真等により具体的に示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器を演奏する際の姿勢や無理のない体の使い方について、写真等により具体的に示されており、県の施策に適合している。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・和楽器のしくみや奏法について、理解しやすいよう工夫されている。また、和楽器の演奏家のコメントが紹介されるとともに、和楽器を活用した学習を通して我が国の伝統的な音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるよう工夫されている。 ・諸外国の多様な音楽や楽器を取り上げ、その共通性や固有性から音楽の多様性を理解し、他国の音楽を尊重する態度が養われるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和楽器のしくみや奏法、その歴史等について丁寧に示されている。また、和楽器の演奏家のコメントや中学生の姿が紹介されるとともに、和楽器を活用した学習を通して我が国の伝統的な音楽のよさを味わい、親しみをもつことができるよう工夫されている。 ・諸外国の多様な音楽や楽器を取り上げることで、それらの音楽に親しみ、他国の音楽を尊重する態度が養われるよう配慮されていること等から県の施策に適合している。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な奏法を身に付けられるよう、学びのポイントが明確に示されるとともに、歌唱・創作・鑑賞の各学習活動との関連にも配慮されている。 ・絵や写真に加え、デジタルコンテンツ「まなびリンク」の音源や演奏動画等により、基礎的な知識や技能が習得しやすいように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な奏法を身に付けられるよう、学習手順が分かりやすく示されるとともに、歌唱・創作・鑑賞の各学習活動との関連にも配慮されている。 ・絵や写真により、基礎的な知識や技能が習得しやすいように配慮されている。また、デジタルコンテンツにより演奏者への関心が高まるよう配慮されていること等から学校の教育方針等に適合している。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書

(種目：美術)

推薦	○		
観点	発行者：9 開隆堂 ----- (書名：美術)	発行者：38 光村図書 ----- (書名：美術)	発行者：116 日本文教出版 ----- (書名：美術)
①	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、生徒の興味・関心を高め、わかりやすい解説や資料を提示し意欲的に学習に取り組める工夫がされているとともに、各個人の能力を伸ばすことができるような題材を発達段階に応じて系統的に配列している。 掲載作品については、生活を明るく豊かにする日本及び諸外国の美術文化を多種多様に取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、作品の発想の仕方や表現方法などを具体的に示し、生徒が自らの表現に生かせるよう工夫された紙面構成になっている。 掲載作品については、美術文化の多様性を感じさせるために、さまざまな国や地域、時代から作品が選定されるとともに、原寸大図版を取り入れることで、本物に触れる感動を与え、生徒の学習意欲の喚起を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、自ら課題を発見し、試行錯誤しながら解決方法を考える学習への工夫がされている。 掲載作品については、様々な国や地域、時代から作品が選定されるとともに、原寸大図版や高精細印刷等を取り入れ、本物に触れる感動を与えることで、生徒の学習意欲の喚起を図っていること等から県の施策に適合している
②	<ul style="list-style-type: none"> 表現や鑑賞する喜びを味わいながら、脚注に「集団や社会との関わり」など、道徳の内容項目を示すマークを入れ、学習の広がりや深まりを意識しながら編集しており、県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な国や地域、自然災害後の作品を掲載することで、多様な価値観を認めたり、困難を乗り越えよりよく生きようとしたりする心を育めるよう配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現や鑑賞する喜びを味わいながら、「生命の尊さ」などの道徳の内容項目との関連を図るとともに、関連するページには、マークと補足する文章を示している。
③	<ul style="list-style-type: none"> 美術の視点から安全や防災について考えを深められるよう、身近な場所の安全をテーマに制作する題材や災害時に役立つデザインなどが掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 美術の視点から防災について考えを深められるよう、災害時に役立つデザインや震災からの復興を願った作品などが掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 美術の視点から安全や防災について考えを深められるよう、防災看板や食材表示のデザイン、震災からの復興を願った作品などが掲載されており、県の施策に適合している。
④	<ul style="list-style-type: none"> 日本の文化の深い理解と伝統の継承、世界や社会との関わりに目を向けて考えを深められるよう、身近で生活に根座した多種多様な資料が掲載されており、県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の文化への理解を深め、自他の文化を尊重する態度が培われるよう、日本及び諸外国の美術作品や美術文化が多く掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の文化への理解を深め、伝統の継承や自他の文化の尊重について考えを深められるよう、日本の伝統美術に重きを置いた多種多様な資料が掲載されている。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 「自ら考え問題解決できる資質や能力の育成」との関連では、伸ばしたい資質や能力を整理し、観点別の目標や学習のポイントとして生徒にわかりやすく示している。 「基礎基本をしっかり身に付け」との関連では、基本技法を巻末に示し、多様な題材に対応できるよう配慮されている。 「人や自然、文化とのかかわりを大切に」との関連では、国内外の幅広い時代の作品及び生活や社会の中の優れた美術文化を取り上げ、国際社会で活躍するための基礎を身に付けられるよう配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自ら考え問題解決できる資質や能力の育成」との関連では、完成作品と併せて制作の手順が適宜掲載され、生徒がいろいろな表現方法を知るとともに、自ら発想し表現するための工夫が具体的に示されている。 「基礎基本をしっかり身に付け」との関連では、表現活動をする上での技法が充実し、巻末に示されている。 「人や自然、文化とのかかわりを大切に」との関連では、絵巻物と漫画、浮世絵と西洋絵画など異文化間の共通点を示すことで、自己や他者と対話が生まれ、新たな価値観を見出せる構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自ら考え問題解決できる資質や能力の育成」との関連では、全ての題材において、表現と鑑賞が一体的に学習できるとともに、発達段階に応じた3分冊として学習内容が配慮された紙面構成になっている。 「基礎基本をしっかり身に付け」との関連では、巻末の技法や美術史の資料の充実を図ることで対応している。 「人や自然、文化とのかかわりを大切に」との関連では、様々な国や地域、時代の作品を掲載したり、作者の言葉を生徒作品に付したりすることで、多様な価値観と出会う機会が増えるよう配慮していること等から学校の教育方針等に適合している。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：保健体育)

推薦	○		
観 点	発行者：2 東京書籍 (書名：新編 新しい保健体育)	発行者：4 大日本図書 (書名：新版 中学校保健体育)	発行者：50 大修館書店 (書名：保健体育)
①	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習が誰にでも進められるように内容のまとまりごとに「発問」が設定され、資料などを読み解き理解できるように配慮されている。 「広げる」や章末の「日常生活に生かそう」において、学習したことを自他の生活に当てはめて考える活動が設定されていること等から県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対して具体的・体験的な解決が図れるように、健康や安全に関して、実生活・実社会で出会うような場面が設定されている。 「家マーク」や「地域マーク」があり、学習したことを家庭や地域において活用できる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決能力を育成できるように、学習過程で身につけた見方・考え方を働かせる学習活動「体育の窓」「保健の窓」が設定されている。 「学習のまとめ」で、自他の生活を見直したり、社会の在り方を考えたりする体験的活動が設定され、学んだことを実生活に生かせるようになっている。
②	<ul style="list-style-type: none"> 章末資料に「胎児を育てる母体の神秘」が掲載されており、生命の尊さについて考えることができるよう配慮されている。 インターネット依存症も含めて、喫煙・飲酒・薬物乱用の防止について総合的に考えられるよう配慮されていること等から県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の生殖の仕組みを取り上げ、体の成熟と生命の誕生を時系列で理解できるようにし、これから生まれてくる命を尊ぶ心を育めるよう配慮されている。 喫煙・飲酒・薬物乱用の防止について話し合いが充実する配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 男女の生殖機能の成熟について科学的に理解し、新しい命を生み出すための準備期であることや生命誕生の尊さが実感できるように配慮されている。 スマホの習慣も含めて、喫煙・飲酒・薬物乱用の防止について規範意識を養う配慮がされている。
③	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病については、2単位時間で丁寧に扱われており、若い世代からの予防の大切さを実感できるよう配慮されている。 がんの予防は、保健の見方・考え方に沿って、予防方法や早期発見の重要性、治療による回復について、資料を示しながら扱う工夫がされている。 さまざまな年齢の人たちが、さまざまな形でスポーツに関わり楽しんでる姿が掲載されており、生涯にわたってスポーツに関わり、その楽しさや喜びを味わう意欲がわくように配慮されていること等から県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病は、「予防」について1単位時間での取扱いになっている。章末資料に「生活習慣病の起こり方」を掲載している。がんの予防は、本文とそれを裏付ける明らかな最新の資料を掲載することで、学習内容を深められるように工夫されている。 さまざまな国際大会で活躍する選手等の姿であったり、世界で活躍する元アスリートや研究者のメッセージを掲載し、学習意欲を喚起したり、興味・関心を引いたりするように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病については、2単位時間で丁寧に扱われており、むし歯と歯周病について、コラムで取り上げ、興味関心を触発するように配慮されている。がんの予防についても2単位時間を当て、がん検診の重要性を理解できるように工夫されている。 日常生活や国際社会までの保健体育に関わる出来事を切り取りビジュアルな紙面にまとめられ、保健と体育の見方・考え方を使って実生活や実社会を見つめることで、興味関心が高まるように配慮がされている。
④	<ul style="list-style-type: none"> 中学生が地域の人と協力して活動する場面が随所に掲載されていたり、自分の地域について調べる活動が多数設定されたりするなど、郷土と国を愛する態度を養う内容になっている。 東京オリンピック・パラリンピックについて、口絵や巻末に資料が豊富に掲載され、国際理解が進む内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なスポーツに取り組む日本人の様子等が多数掲載されており、スポーツを通して日本の特色や魅力を発信するとともに郷土と国を愛する態度を養う内容になっている。 オリンピック等のスポーツ文化を学ぶことで、国際理解を深め、グローバル社会に対応した資質を育む内容になっていること等から県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な場面の日本の様子が写真等で紹介されており、日本の特色を詳しくつかめる内容になっている。 東京オリンピック・パラリンピックについて、口絵で意欲・関心を高めるなど、体育理論において、国際理解が進む配慮がされている。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に「保健体育の学習方法」が掲載されており、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4ステップ構成で主体的・対話的に取り組めるように配慮されている。 「活用する」では、習得した知識を活用してより深く探求できる活動が設定されていること等から学校の教育方針等に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びにつながるように、本文ページと資料ページが明確に分けられている。 章末「学びを活かそう」で、資料から読み取る、友達と話し合うなど、対話を通して思考を広げて探求している工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びに向かえるように、「振り返ろう」「意見を出そう」「やってみよう」「考えよう」「話し合おう」と多様な導入活動が提示されている。 本文の内容をさらに探求できるように「掘り下げる」が随所に設定されている。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：保健体育)

推薦	
観	発行者：224 学研教育みらい
点	----- (書名：中学保健体育)
①	<ul style="list-style-type: none">・比べる、確かめる、話し合うなどの活動を学習内容に応じて設定されていて、問題解決的な学習が実践できるようになっている。・実感を伴って理解し、実生活との結び付きを実感できるように、実習や体験的活動が随所に取り入れられている。
②	<ul style="list-style-type: none">・生命尊重に関わる悩み(LGBTやSOGI)への相談に関する学習を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、生命を尊ぶ態度を養うことができるよう配慮されている。・喫煙・飲酒・薬物乱用の防止について、具体的な事例を基に考えたり話し合ったりする課題を設けている。
③	<ul style="list-style-type: none">・生活習慣病については、1単位時間で扱われており、運動、食事、休養・睡眠との関係で整理工夫されている。がんの予防は、基本的な資料を基に科学的に理解できるようにするとともに、医療現場の取り組み事例を基に、「がんとともに生きる」「がん患者とともに生きる」ことについても考えられるよう配慮されている。・豊富な資料や「教科書サイト」で情報活用能力を図りながら、学習意欲を喚起したり、興味・関心を引いたりするように配慮されている。
④	<ul style="list-style-type: none">・「ひと」や「コラム」などで、今までの日本や日本人の取り組みを取り上げることで、郷土や国を愛する態度を養う内容になっている。・東京オリンピック・パラリンピックの内容を含め、民族や国、人種等を越えてつながり合う資料が充実しており、グローバル社会に対応した資質を育む内容となっている。
⑤	<ul style="list-style-type: none">・「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」で構成され、主体的・対話的な学習活動へ導く紙面構成である。・「もっと広げる・深める」「探求しようよ」では探求的な学習例や詳しい資料が掲載され、より深い学びに結び付けられるようになっている。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：技術・家庭 (技術分野))

推薦			○
観点	発行者：2 東京書籍 (書名：新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology)	発行者：6 教育図書 (書名：New 技術・家庭 技術分野明日を創造する)	発行者：9 開隆堂 (書名：技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて)
①	<ul style="list-style-type: none"> 技術の見方・考え方を働かせ、問題解決を図る構成となっており、各内容において学習過程が統一されている。 考える、調べる、話し合うなど活動場면을多く設定し、主体的に取り組むための工夫をされている。 基礎的・基本的な知識・技能については、必要な知識・技能を分かりやすく表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各内容の全体を通して、問題解決的な学習を学ぶ構成となっており、学習過程が統一されている。 「やってみよう」を掲載し、話し合い活動や体験的な活動を取り入れる工夫がされている。 作業や実験を通じて、体験的な活動を行う中で基礎的・基本的な知識・技能が身に付くように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 技術の見方・考え方を働かせ問題解決を図る構成であり、問題解決における流れが丁寧であり、実習例が充実している。 導入に課題を取り入れ、積極的に授業に取り組むための工夫をし、適所に実験や課題を配置することで活動場面が設定されている。 基礎的・基本的な知識・技能は、図や写真を適切に使用し、理解しやすいよう工夫されていること等から県の施策に適合している。
②	<ul style="list-style-type: none"> 各内容で、男女平等に配慮されていて、人権や福祉に関わる技術の役割を理解できる内容になっている。 「情報モラル」マークを添えており、「情報の技術」の内容で、インターネットや情報機器の利用について具体的に示しながら、情報モラルの必要性を理解できる内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「共生」マークを添えており、各内容で、個人の価値を尊重して、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるように配慮されている。 「情報モラル」マークを添えており、「情報の技術」の内容で、インターネットや情報機器の利用について取り上げることで、情報モラルや情報セキュリティについて理解できる内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各内容で、協力を重んずる態度、自他の敬愛、男女の平等などの精神を養えるように配慮されている。 「情報モラルリンクマーク」を添えており、ガイダンスおよび「情報の技術」の内容で、インターネットや情報機器の利用について取り上げ、情報モラルや情報セキュリティについて理解できる内容になっていること等から県の施策に適合している。
③	<ul style="list-style-type: none"> 安全マークや作業の注意点を拡大写真等で示すことで、生徒が安全を意識して活動に取り組むことができる内容になっている。 イラストや写真を用いて正しい作業方法を示すことで、生徒が安全に活動できる工夫がされていること等から県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全マークを用いることで、安全面や衛生面で気を付けるべきことを生徒が捉えられる工夫がされている。 技能面の補助として映像資料が豊富にあるため、生徒はより安全に活動することができる内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活経験をもとに身近なものの中に問題を見つけ、生徒が主体的に安全について考えることができるように工夫されている。 作業の注意点や動作のポイントで正しい作業方法を捉え、より安全に活動することができる工夫がされている。
④	<ul style="list-style-type: none"> 「技術の巧」「伝統文化」マークを添えており、各内容で日本の伝統・文化に誇りを持って継承していく大切さに気付くことができるような内容になっており、県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「伝統文化」「知的財産」マークを添えており、各内容で日本の伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるような内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各内容で日本の伝統的な技術について取り上げ、先人たちへの敬意、日本の伝統と文化の素晴らしさが理解できるような内容になっている。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭のガイダンスや導入の課題が生徒の意欲を高めている。また、基礎・基本から応用へと段階を踏んで記述されている。 活動や評価改善があることで、生徒同士の対話的な学びにつながりやすく、人との関わり合いを設定することができる内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 別冊のハンドブックに基礎・基本がまとめられており、生徒が意欲的に発展的な学習につなげやすい工夫がされている。 構成に工夫があり、体験→学ぶ→深めるといった段階において人との関わり合いを設定できる場面が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入の課題が生徒の興味・関心に沿ったものが多く、生徒自身が主体的に学習に取り組める工夫がされている。 発展的な内容や映像資料が充実しており、基礎・基本を押さえた上で、対話的な学びにつながるよう工夫がされていること等から学校の教育方針等に適合している。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：技術・家庭(家庭分野))

推薦			○
観点	発行者：2 東京書籍 (書名：新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して)	発行者：6 教育図書 (書名：New技術・家庭 家庭分野暮らしを創造する)	発行者：9 開隆堂 (書名：技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生)
①	<ul style="list-style-type: none">生活の中から課題を見つけ、問題解決を図り、生活に返すことで、問題解決の流れを作るとともに、思考を補助する内容が記載されている。生活の営みに係る見方・考え方を踏まえ、思考を深める活動を取り入れた構成となっている。基礎的・基本的な知識・技能がまとめて掲載され、関連付けて学ぶことができるように配慮されている。	<ul style="list-style-type: none">実践的・体験的活動から、問題解決学習へと系列的に配列し、主体的に学習に取り組めるように配慮されている。編や各項目の導入で、生徒が今の生活から関心・意欲を持ち、学習に取り組めるようにしている。基礎的・基本的な知識・技能を視覚的資料とともに学べるよう構成されている。	<ul style="list-style-type: none">生活の中から課題を見つけ、実践し、生活に生かす学習過程を重視しており、課題解決に向けた工夫がされている。全編が主体的・対話的で深い学びの流れで構成され、活動を通して学びを理解するよう工夫されている。基礎的・基本的な知識・技能を分かりやすい図や写真とともに掲載している。また科学的な資料や根拠が示されていること等から県の施策に適合している。
②	<ul style="list-style-type: none">「他教科」マークが添えられており、各内容で道徳との関連を充実させ、道徳心を培うことができるように配慮されている。「環境」マークが添えられており、環境の視点と生活場面とを結びつけて考えられるように配慮されていること等から県の施策に適合している。	<ul style="list-style-type: none">「共生」マークが添えられており、各内容で男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるように配慮されている。「環境」マークが添えられており、環境と生活を結びつけて考えられるように配慮されている。	<ul style="list-style-type: none">「他教科」マークが添えられており、各内容で他者との共生、男女の平等について考えることができるように配慮されている。「環境」マークが添えられており、個々の学習内容と関連付けて環境保全について意識を高められるように配慮されている。
③	<ul style="list-style-type: none">調理の過程を分かりやすく示したり、安全面や衛生面をマークで表現したりすることで、生徒が安全かつ効率的な実習を行えるよう工夫している。巻頭のガイダンスによって、生徒が主体的に自分の生活を振り返り、健康的で安全な生活を目指して学習を進めることができる内容である。	<ul style="list-style-type: none">イラストや写真を用いて、よい例だけでなく悪い例も示すことで、生徒が主体的に健康や安全について考えられるよう工夫されている。安全な実習の方法や注意点など、体験を伴う学習について効果的な映像資料を取り入れ、生徒が安全に活動を行うことができる内容である。	<ul style="list-style-type: none">拡大写真や映像資料が充実していることから、生徒が自らの健康の保持や安全について考えやすく、主体的に活動に取り組むことができる内容である。安全面や衛生面に関する注意点をマークで分かりやすく示すことで、今後の健康的で安全な生活に役立つよう工夫がされていること等から県の施策に適合している。
④	<ul style="list-style-type: none">「伝統文化」マークが添えられており、各内容で日本各地の伝統文化の事例を充実させ、日本や地域の文化を知り、日本の伝統文化のよさや継承することの大切さが実感できるように工夫されている。	<ul style="list-style-type: none">「伝統文化」マークが添えられており、2つの内容で日本各地の伝統文化の事例を充実させ、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるように工夫されている。	<ul style="list-style-type: none">「伝統文化」マークが添えられており、各内容で日本各地の伝統文化の事例を充実させ、我が国の独自の文化と先人の工夫に気付き、日本人としての誇りが育まれるように工夫されており、県の施策に適合している。
⑤	<ul style="list-style-type: none">基礎・基本の部分と発展的、応用的な部分の配置が工夫されており、生徒が自ら学びを深めることができる内容である。メニュー例やイラスト、写真が豊富なため、生徒が自分の考えをもち、人と関わり合いながら、対話的な学びが行いやすいよう工夫がされている。	<ul style="list-style-type: none">生徒に身近な題材を単元の導入や終末に扱うことで、課題を自分のこととして捉え、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。吹き出しが多く、生徒が自分の考えをもち、人との関わり合いの場を多くもてるよう工夫されている。	<ul style="list-style-type: none">基礎から応用の流れが捉えやすく、基礎・基本を身に付けた上で、生徒一人一人が主体的に学べるよう工夫されている。学習の導入が、生徒に寄り添った観点で書かれており、身近な問題や課題を通して、生徒同士が関わり合えるように工夫がされていること等から学校の教育方針等に適合している。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書

(種目： 外国語)

推薦	○		
観点	発行者： 2 東京書籍 (書名： NEW HORIZON)	発行者： 9 開隆堂出版 (書名： SUNSHINE)	発行者： 15 三省堂 (書名： NEW CROWN)
①	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット冒頭に目標を示し、巻末に学年の CAN-DO リストを配置している。 ・学習の流れが「知識・技能の習得」から「読解」「思考・判断」「表現」とわかりやすい。 ・4技能5領域の力が身に付くよう工夫され、特に目的や場面・状況に応じてコミュニケーションができる力を育成する活動が配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム冒頭に目標を示し、巻末に3年間の CAN-DO リストを配置している。 ・学習の流れが「知識・技能の習得」から「読解」「思考・判断」「表現」とわかりやすい。 ・4技能5領域を統合的に活用し、目的や場面に応じ、また即興的なコミュニケーションができる力を育成する活動が配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レッスン冒頭で学習の見通しを示し、巻末に学年の CAN-DO リストを配置している。 ・学習の流れが「知識・技能の習得」から「読解」「思考・判断」「表現」とわかりやすい。 ・4技能5領域のバランスが配慮されており、また目的や場面・状況に応じて読み取る力や、即興で伝え合う力、自らの考えを話し・書く力を養う活動が配置されていること等から県の施策に適合している。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の道徳的課題に関連した豊富な話題をわかりやすい構成で取り上げており、多様なものの考え方に触れている。自立した思考・判断を促す内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の道徳的課題に関連した日常的な話題を取り上げており、多様なものの考え方に触れている。自立した思考・判断を促す内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の道徳的課題に関連した豊富な話題を取り上げており、多様なものの考え方に触れている。自立した思考・判断を促す内容となっており、県の施策に適合している。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育に関するトピックや防災・安全に関する話題など生徒の興味・関心を引くものが取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育に関するトピックや睡眠に関する話題など生徒の興味・関心を引くものが取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育に関するトピックや環境問題に関する話題など生徒の興味・関心を引くものが取り上げられている。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の知的好奇心を喚起する、環境保護、平和、国際支援、科学技術、ユニバーサルデザインなど SDGs に関連した現代的課題が取り上げられている。 ・世界各地の生活や文化を扱い、異文化や国際社会について理解する態度や日本の伝統文化を見つめ直し、発信する態度が育成されるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階を考慮し、身近な話題から環境、平和、人権、共生、科学技術など SDGs に関連した現代的課題が取り上げられている。 ・世界各地の生活や文化を扱い、異文化を尊重する態度や日本の伝統文化を再確認し、発信する態度が育成されるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の知的好奇心や興味・関心、発達段階に合わせ、人権、環境保護、自然科学、平和など SDGs に関連した現代的課題が取り上げられている。 ・世界各地の言語や歴史、文学を扱い、多様な社会を尊重する姿勢や日本の伝統文化を再確認し、発信する態度が育成されるよう配慮されている。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階に応じた関心の持てる題材を用いて、世界の人や文化・国への興味を持たせる工夫がされている。 ・小学校からの円滑な接続を意識し、生徒の理解度を高める配慮がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学3年間の単元間の接続を意識した話題を取り扱っている。 ・実社会への共感から社会貢献へ意識を向けさせ、自己を確立する基盤をはぐくむような題材配置である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を生かした発展的な活動への展開が多様で、小中高接続が意識されている。 ・語彙の習得、読解力の育成、即興性のある会話への移行など段階的に配置されており、自立した学習者を育成するよう配慮されていること等から学校の教育方針等に適合している。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書

(種目： 外国語)

推薦			
観点	発行者： 17 教育出版 ----- (書名： ONE WORLD)	発行者： 38 光村図書 ----- (書名： Here We Go!)	発行者： 61 啓林館 ----- (書名： BLUE SKY)
①	<ul style="list-style-type: none">・パート冒頭に目標を示し、巻末に各学年の CAN-DO リストを配置している。・学習の流れが「知識・技能の習得」「思考・判断」「表現」そして「読解」と工夫されている。・基本的な知識・技能の習得から、相手を意識した表現・発信する力の育成まで、4技能5領域を養う活動が配置されている。	<ul style="list-style-type: none">・ユニット冒頭に目標を示し、巻末に各学年の CAN-DO リストを配置している。・学習の流れが「基本知識の定着」から「読解」「思考・判断」「表現」とわかりやすい。・4技能5領域のバランスが考慮されており、確かな学力に基づいたコミュニケーションする力を育成する活動が配置されている。	<ul style="list-style-type: none">・ユニット冒頭に目標を示し、巻末に3年間の CAN-DO リストを配置している。・学習の流れが「知識・技能の習得」から「読解」「思考・判断」「表現」とわかりやすい。・基礎的な資質・能力を踏まえ、コミュニケーションの目的・状況・場面を意識して4技能5領域を養う活動が配置されている。
②	<ul style="list-style-type: none">・今日の道徳的課題に関連した豊富な話題をわかりやすい構成で取り上げており、多様なものの考え方に触れている。自立した思考・判断を促す内容となっている。	<ul style="list-style-type: none">・今日の道徳的課題に関連した日常的な話題を中心に取り上げており、多様なものの考え方に触れている。自立した思考・判断を促す内容となっている。	<ul style="list-style-type: none">・今日の道徳的課題に関連した豊富な話題をわかりやすい構成で取り上げており、多様なものの考え方に触れている。自立した思考・判断を促す内容となっている。
③	<ul style="list-style-type: none">・キャリア教育に関するトピックや福祉、健康に関する話題など生徒の興味・関心を引くものが取り上げられている。	<ul style="list-style-type: none">・キャリア教育に関するトピックや防災・安全に関する話題など生徒の興味・関心を引くものが取り上げられており、県の施策に適合している。	<ul style="list-style-type: none">・キャリア教育に関するトピックや防災、福祉、健康に関する話題など生徒の興味・関心を引くものが取り上げられている。
④	<ul style="list-style-type: none">・生徒の好奇心を伸ばし、思考や共感の力を高める題材として、身近な話題から情報、共生、平和、人権など SDGs に関連した現代的課題が取り上げられている。・世界各地の生活や文化を扱い、世界への視野を広げ、日本の伝統文化を見つめなおす態度が育成されるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none">・身近な話題から社会的、時事的な話題へと発達段階に合わせ、環境、産業、情報、教育、科学技術など SDGs に関連した現代的課題が取り上げられている。・他教科の学習等と有機的に結びつけて、深い学びを実現し、互いの文化を大切にすることが育成されるよう配慮されていること等から県の施策に適合している。	<ul style="list-style-type: none">・生徒の発達段階を考慮し、人権、ジェンダー、国際理解、教育、平和、公正、自然、環境など SDGs に関連した現代的課題が取り上げられている。・世界各地の生活や文化を扱い、異文化について理解する態度や日本の伝統文化を見つめなおす態度が育成されるよう配慮されている。
⑤	<ul style="list-style-type: none">・発達段階に応じ、題材や言語活動が配置されている。・小中接続を意識し、基本的な内容を重視して生徒の理解が進むよう工夫されている。	<ul style="list-style-type: none">・小学校で学習した表現を早期段階で扱い、基本的な表現の定着を図っている。・自分から身の回り、社会、世界の順に関心を広げながら学習できるように配置されている。	<ul style="list-style-type: none">・小学校からの接続を意識し、スモールステップによる学習場面を設定し、学習の進めやすさを意識して配置されている。・日常的な話題から始まり、徐々に社会的話題に触れられるよう配置されている。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：特別の教科 道徳)

推薦			
観 点	発行者：2 東京書籍 新訂 新しい道徳	発行者：17 教育出版 中学道徳 とびだそう未来へ	発行者：38 光村図書 中学道徳 きみが いちばん ひかるとき
①	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に考えられるよう、全教材の冒頭にテーマを設定し、導入で問題を提起している。 教材文の一場面を役割演技すること、自分のこととしてとらえて体験的に学ぶ教材を「アクション」として各学年2テーマずつ設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材の冒頭の問いかけで、考える視点をもたせることで、見通しをもって主体的に取り組むことができるようにしている。 役割演技や日常の体験を想起して話し合う活動を取り入れ体験的な学習ができるよう「やってみよう」で手順を示していること等から県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に考えられるよう、教材を通して何を学ぶのかをはっきりと意識できるように「てびき」に示している。 各学年に4か所「深めたいむ」を配置し、役割演技やグループ活動など生徒自身が活動を通して考え、深められるようにしている。
②	<ul style="list-style-type: none"> 「生命尊重」と「いじめ問題」を重点テーマとし、全学年ともにユニット化している。3つの教材を通して3時間で1つのテーマについて考えることで、多面的・多角的に捉えさせる工夫がある。教材には読み物だけでなく、イラスト、画像・詩・マンガ等の多様なメディアを取り入れており、生徒がイメージして考えやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめや差別のない社会について深く考える教材」は「生命の尊さ」と同様に、複数組み合わせたユニットで構成し、間接的・直接的に考えさせ、深めることができる。また、ユニット内に道徳科以外の時間に活用できるコラムもある。「学びの道しるべ」では、多面的・多角的に考えさせるオープンエンドの問いを多く配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ防止に関する内容の教材」は、全学年とも複数の教材からなるユニットで構成されている。教材は、編集委員会の著作物や魯迅等の文学作品を出典とした読み物が中心で、「深めたいむ」には具体的な中学生の取組の実例紹介がある。「めあて」とめあてに迫る問い、見方を変える問いで深め、他教科とのつながりが意識しやすい。
③	<ul style="list-style-type: none"> 全学年に「情報モラルと友情」を観点とした読み物教材を配し、日頃起こりうる状況から人間関係のあり方等を考えさせるものとなっている。 「防災」では、災禍の中に希望を見出すもの、東日本大震災の話題を扱う内容が複数ある。防犯カメラの是非について、情報モラルと防災の両視点で迫る構成となっていること等から県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年「個人情報の取扱い」第2学年「SNSのよさと怖さ」第3学年「便利さと安全」を扱い、3年間で「情報モラル」を系統的に深めるよう配置されている。情報との主体的な関わり方を、多様な側面から考えさせる。 「防災」は全学年を通して自然災害を題材とした教材や日々の生活の中での安全を考える複数の教材で構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年を通して、「情報モラル」の内容を扱った読み物教材の後携帯電話やスマートフォン使用の際の心構え等について考えを深める「深めたいむ」で構成されている。 全学年を通して、震災(東日本大震災)を題材とした教材が配されており、常に備え、未来に伝えるという強い意識をもつための配慮がなされている。
④	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の伝統文化について、生徒作文を用いて共感的に考えさせる教材を扱っている。 書道パフォーマンスなど伝統文化を身近に感じられる教材を扱っている。 命の危険に脅かされながら生活している世界の子供達の写真と谷川俊太郎の詩から、何を感じ、自分に何ができるかを考えさせる教材を扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な環境の美化や伝統行事の継承を取り上げ、郷土を愛する心を扱っている。 野村萬斎の狂言を例に、国際社会からも高く評価される日本文化を示している。 緒方貞子やマザーテレサの活動から、愛に基づく国際社会での勇気ある決断と行動を考えられる教材を取り扱っていること等から県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 輪島塗を例に、伝統工芸の素晴らしさと郷土愛を扱っている。 米、着物、障子など、生活に根ざした日本文化のよさを外国人の視点からも記述している。 ルワンダでの義肢装具作りは、現地の人との交流を通して国際貢献に目覚め、目標を定めて生き方を選んでいく姿を取り扱っている。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習として、導入で問題を発見し、教材を読んだりグループで話し合いをしたりして問題解決を図る教材を各学年2時間扱い1テーマ設定している。 相手の立場で考えることを促す身近な事例と社会での事例をそれぞれ各学年で設定している。 考え、議論するツールが用意されており、会話を通してよりよい価値判断を探れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物が判断をせまられる場面が中心の教材や異なる立場からの考えを取り上げた教材などを取り入れ、問題解決的な学習ができるようにしている。 人に見られるときと人を見るときに心の持ちようについて、立場を変えて考える教材を扱っている。 マンガ、絵本、歌詞などから考える題材を選び、議論しやすい構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の日常生活で起こりえる問題を取り上げ、問題解決的な学習に取り組む教材を配置している。 「つなげよう」や「見方を変えて」として、多角的に物事を見るヒントを与えている。 考えを深めるための補助教材も適宜取り入れて、よりよい価値判断へ導く構成になっている。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：特別の教科 道徳)

推薦	○		
観 点	発行者：116 日本文教出版 中学道徳 あすを生きる	発行者：224 学研教育みらい 新・中学生の道徳 明日への扉	発行者：232 廣済堂あかつき 中学生の道徳 自分を見つめる1 自分を考える2 自分をのばす3
①	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に取り組めるよう、発達の段階を踏まえ、身近な教材を選定し、「学習の進め方」で、写真などを用いて授業の展開をイメージしやすくしている。 各学年に2教材、体験的な学習に適した教材が配置されており、1時間でも無理なく実施できる教材を精選している。視点や意見発表の流れを具体的に示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材の前に主題名を示さず、特定の価値観を押し付けず生徒自らの気づきや考えを促している。 役割演技を通して考える教材を各学年に一つずつ配置している。 異なる複数の意見や関連情報を提示することにより、考えを深めるための多様な視点を示していること等から、県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な題材を取り上げ、体験的な学習を促す問いを設定している。 教材ごとの「学習の手がかり」でめあてと問いを設定し、生徒が主体的に取り組めるようにしている。また、「考えを広げる・深める」で更に学びを発展させる方向性を示している。
②	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ防止に関する内容の教材」は、一定期間に集中的に学習できるように、各学年ともユニークな構成で、年間に複数回配置した教材だけでなく、絵や図解入りの「プラットフォーム」には知識を深めるコラムとスキルを身につけるコラムとつながり、他教科や様々な活動とつなげ、考えを広げることができ、県の施策に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 重点テーマは「命の教育」であり、生きる喜び、生きる力、かけがえのない他の生命を尊重する内容の教材を配置している。「いじめ防止に関する内容の教材」は、特に第3学年では多種多様な出典があり、生徒の心を揺さぶるような読み物教材だけでなく、ネット利用による人間関係への影響についての具体的なデータも示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ防止に関する内容の教材」では、学年が上がるごとに読み物教材数を増やしている。また、別冊や巻末に資料を掲載する等して内容を補完している。随所に国の小・中・高校生データをグラフ等で示し、自分自身が現在、どの立場で、意見を照らし合わせて、考えることができる。
③	<ul style="list-style-type: none"> 「情報モラル」に関するコラムが各学年にある。インターネットやSNSの特長や注意点等を取り上げ、情報社会で生きていくための知識を豊富に配置している。 各学年に「安全に生きる」をテーマとした複数の教材を配置し、生活安全や交通安全についても取り上げながら、社会を担う視点をもたせた「防災」を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットを活用する上での功罪について、クローズアップして扱っている。身近なSNSで起こりやすい「ネットいじめ」に関する教材が各学年に複数ある他、「ネット依存」なども取り上げている。 「防災」では、阪神・淡路大震災、東日本大震災等に関する話を基とした心揺さぶる教材等を各学年に配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年とも巻末に「情報モラル」を扱った特集ページがあるのが特徴である。情報機器のよりよい活用を促している。読み物教材は全学年とも1教材ずつ収録。 「防災」では、1学年で阪神・淡路大震災、3学年で東日本大震災に関する巻末の特集ページを組み、各学年の読み物教材で防災の面でも社会参画を促す内容となっている。
④	<ul style="list-style-type: none"> 郷土芸能や夏祭りを取り上げ、郷土愛を喚起している。 ホームステイに行く立場、受ける立場での教材から、国際的な視野に立つての伝統文化や相互理解について考えられる構成になっている。 マララ氏の教材は、若者が強い意志で世界に働き掛け、世界を動かす共感しやすいロールモデルとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ねぶた制作に打ち込む女性の姿から、強度の伝統文化を守る意志を考えさせている。 日本文化を学ぶ外国人の姿や英語落語を取り上げ、国際社会における日本文化の価値を考える視点を与えている。 地雷除去機の開発に携わる人や「国際協力師」を教材として、国際貢献をする生き方について考えさせている。 	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の被災地でいのちの石碑を建てる中学生達の活動から、郷土の未来のために行動することを考えられる。 王貞治氏の国というものに対する考えを述べた教材は、日本と日本人であることについて考えさせられる。 国際協力についての2つの生徒作文から、異なる考え方について議論できる。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 各学年に4教材、問題解決的な学習に適した教材が配置されており、議論のステップを示し、効果的に学習を進められるように構成されている。 自分の発した言葉が相手の心情にどのような響くのかを考えさせる教材を扱っている。 話し合い活動を通して考え方の変容を記述するノートが付属していること等から学校の教育方針等に適合している。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習や体験的な学習の具体例を「深めよう」という特設ページで提示している。 自分の一方的な感情から怒りをぶつけてしまう主人公の姿を見せ、事態を客観視することの大切さを考えさせている。 結論を出さない終わり方で後の展開を考えさせる構成がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的な課題を生徒がを見つけ、考え議論していくことができる教材を問題解決的な学習を促す教材として設定している。 利害の対立する相手を理解し、どのような言葉をかけるべきかを考えさせている。 考え方のまとめや補充資料を掲載したノートが付属している。

令和3年度使用県立東葛飾中学校教科用図書選定理由書
(種目：特別の教科 道徳)

推薦	
観点	発行者：233 日本教科書 ----- 道徳 中学1生き方から学ぶ 中学2生き方を見つめる 中学3生き方を創造する
①	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学びの実現に向けて、身の回りに興味・関心をもち問題意識をもつことができるような教材を中心に据えている。 各教材に「考え、話し合ってみよう そして深めよう」として生徒の思考を深める発問を提示し、議論できるように工夫されている。
②	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ防止に関する内容は、生命を尊ぶ態度が不可欠」との考えから、「自然や崇高なものとのかかわり」に複数の教材を配している。3年間の成長段階に合わせた話題で価値観の多様性と出会わせる工夫がある。「障害者差別解消法」に関する新聞の社説からは「合理的な配慮」を考えさせている。
③	<ul style="list-style-type: none"> ネット社会の人間関係形成のために、自分事として考え、話し合うことができる教材が全学年にある。ネットを通して起こった好事例や、起こりうるトラブルなどを取り上げた読み物教材がある。 第1学年に交通安全、第2学年に「防災力」を扱ったページがあり、第3学年には東日本大震災を話題とした読み物教材がある。
④	<ul style="list-style-type: none"> 「環境先進国江戸」では、道具の直しや用途を変えて布地が使われるなど、知恵と工夫による生活の姿を教材としている。 薬師寺の再建に携わった宮大工の言葉を通して、先人の知恵と技に触れることができる。 留学体験を扱った教材から、意思疎通に大切な伝え方の違いを考えることができる。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活における身近な場面から、答えが一つでない道徳的な課題を取り上げ、生徒が自分自身の問題としてとらえ、考え、議論することができるような教材を配置している。 性同一性障害、錯視、老人に席を譲ろうとしたら怒鳴られたなど、物事の見方を考えさせる教材を扱っている。 オープンエンドで考えを深める教材が配置されている。